Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人部趣意

世の中は男ばかりの世界ではなく男ばかりで保つて行くものではありません。人間の半分は女で、女の心懸けやう、働きやう一つによつて、此世をば明るくもし、暗くもすることが出來るのであります。友愛會は勞働の品位を高め日本の勞働者の境遇を改めやうとして起つた團體であります。がこれまで重に男の人達のために働いて參りました。併し男と同じやうに工場や其他の所で働いて居る婦人、又は男を助けて家庭の内で働いて居る婦人方のために、何事か致さねばならぬといふ感じが此頃特に著しくなりました。そこで玆に友愛會に婦人部を設け、追々といろ〳〵の事業をしたいと思ふのであります。

友愛會婦人部規則

第一條　本會は之を友愛會婦人部と申し本部を其中心とし各支部分會内に其地方々々の事務所を置くこと、致します。

第二條　會費は之を十錢とし、本部に八錢を送り二錢を支部に殘し、種々の費用に當てること、致します。

第三條　本會は左の如き事業を行ひます。

一、出版部　雜誌「友愛婦人」を毎月一回發行し其他有益な書物を出版致します。

二、講演部　少くとも毎年春秋二回講演會を開き餘興を加へて會員の修養娛樂の便を圖ります。

三、人事相談部　會員の爲めに手紙又は面會等の方法に依り種々の相談事に應じます。

四、表彰部　會員の中にて人の模範になる行ひをした人のある時は或は賞金を贈り或は雜誌に寫眞を掲げて其名譽を表彰致します。

五、内職奬勵部　家庭内の婦人の爲めに種々の内職の教授又は奬勵を致します。

其他必要ある時は右の外諸種の事業を創めることに致します。

第四條　本會に入會を望む方は入會申込書に會費を添へ幹事又は委員まで申出でられたいのであります。

第五條　右の外は友愛會の本則に基いて行ふこと、致します。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

だれも持つべき本

鈴木會長著

工場法釋義

何人も知らねばならぬ工場法の事を、たしかな人が、わかりやすく書いてあるのが本書です。

全一册美本百七十頁
定價金十五錢（郵税二錢）
會員は金十二錢

坂本記者編

大正六年 友愛式 懷中日記

何人も持って居るべき日記帖の中でも之れは友愛會の綱領、規則支部分會所在地などがある極めて會員本位に出來て居る懷中日記です。

全一册堅牢美本
定價金十五錢（郵税二錢）
會員は金十二錢

發行所

東京市芝區三田四國町二番地

友愛會本部

電話 芝五八五五
振替東京三一五七

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

『友愛婦人』第四號目次

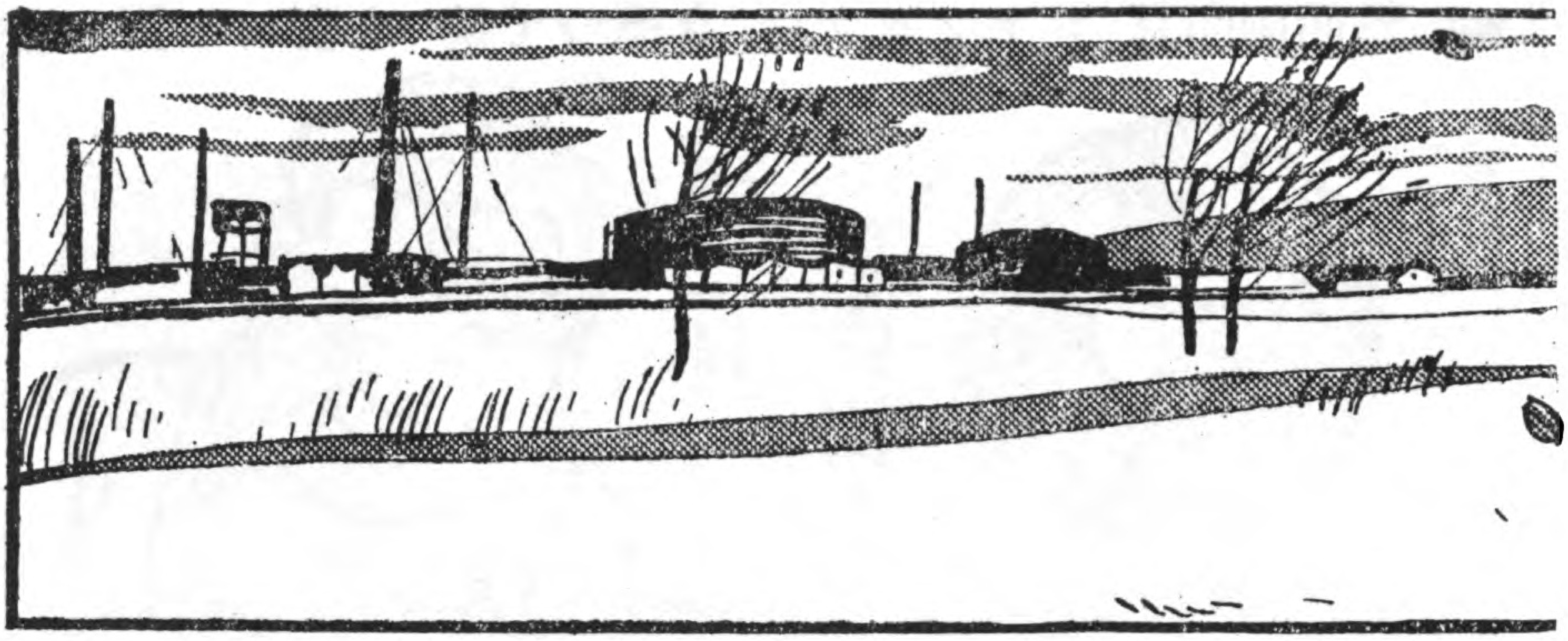
口繪

立太子奉祝

本欄

寄宿舍の窓……………………二
同情心……………………油谷治郎七……四
子守唄……………………六
東京電氣の職業婦人……………平澤計七……八
考へ繪……………………一五
太古の女工と傳說の女工…………松美佐雄……一六
教育講談『鉈』……………………三浦樂堂……一八
オトギバナシ……………………二〇
工女を愛する獨逸皇后……………山脇玄……二三
日本の女の體つきは醜い…………田代義德……二六
着物の柄の選び方……………………三〇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



鐘ヶ淵紡績會社を訪ふ……恩田和……三一
不思議の乙女……油谷治郎七……三八
手輕なお料理……四二
メンテス女史を訪ふ……さくら子……四四
活動寫眞はよい教育になる……四七
お酒の罪……稲葉愛子……五一
廢物利用……河口愛子……五五
はなしのたね……坂本正雄……五八
(小説)盆踊の晩……平澤紫魂……六三
風邪がはやる……竹内薫兵……七一
評判のよしあし……勿忘草……七三
一口ばなし……七四
歌、文、俳句……七六
記者より……七八
新入會者報告、支部會報……七九

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

買つて安心 使つて徳な ニッポノホン 鷲印兩面盤

拾壹月新賣出し

今、賣出した、新音譜！

▲落語 うどんや 柳家小さん

▲オーケストラ 方舞コチロン 國風ダンス オーケストラ團

▲喜劇 ハガキ一枚 專屬演劇部員 はやし連中

▲長唄 供奴 立唄 中村兵藏 三絃 杵屋新右衛門 杵屋六一郎 鳴物 田中傳左衛門 外連中

▲新内 蘭蝶の心中 鶴賀宮古太夫 三絃 和國太夫 上調子 鶴太夫

▲小唄 お前待ち〳〵(サイコドンドン) 假色入都々逸 小山内薫先生作 吉原〆治 櫻川長壽

▲お伽歌劇 ゴロスケポッポー 北村初子夫人作曲 北村季晴先生指導 專屬演藝部員 はやし連中

鷲印兩面盤 定價 金壹圓五拾錢也

文部省作歌作曲 立太子式奉祝歌 モモタロー、レコード 兩面盤 金貳拾錢

ニッポノホン

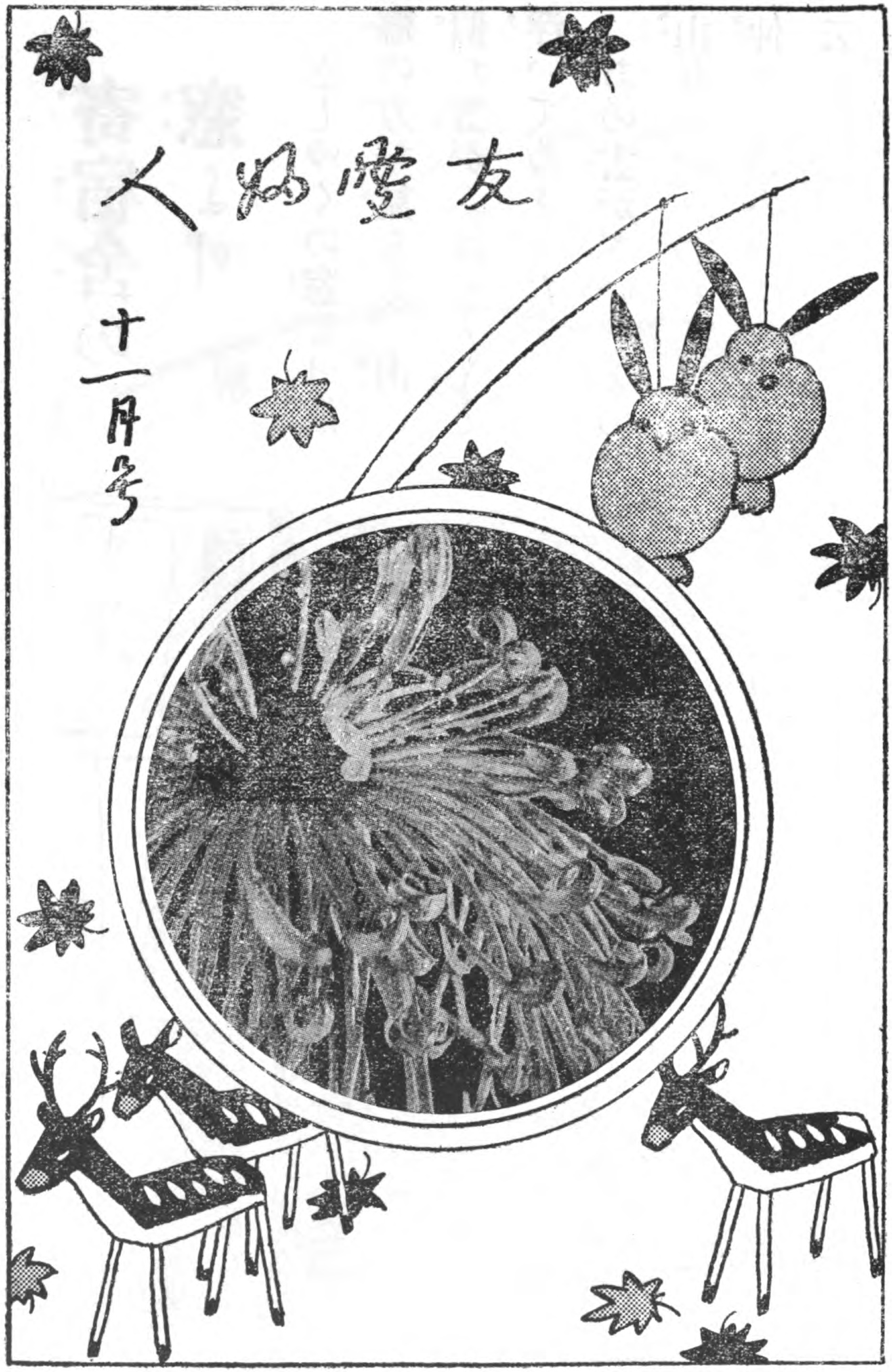
(新目錄進呈) 東京京橋區銀座一丁目十番地 株式會社 日本蓄音器商會 長電話京橋二七五二。二五八 振替口座東京一二三八〇番

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

奉祝

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

寄宿舎の窓より

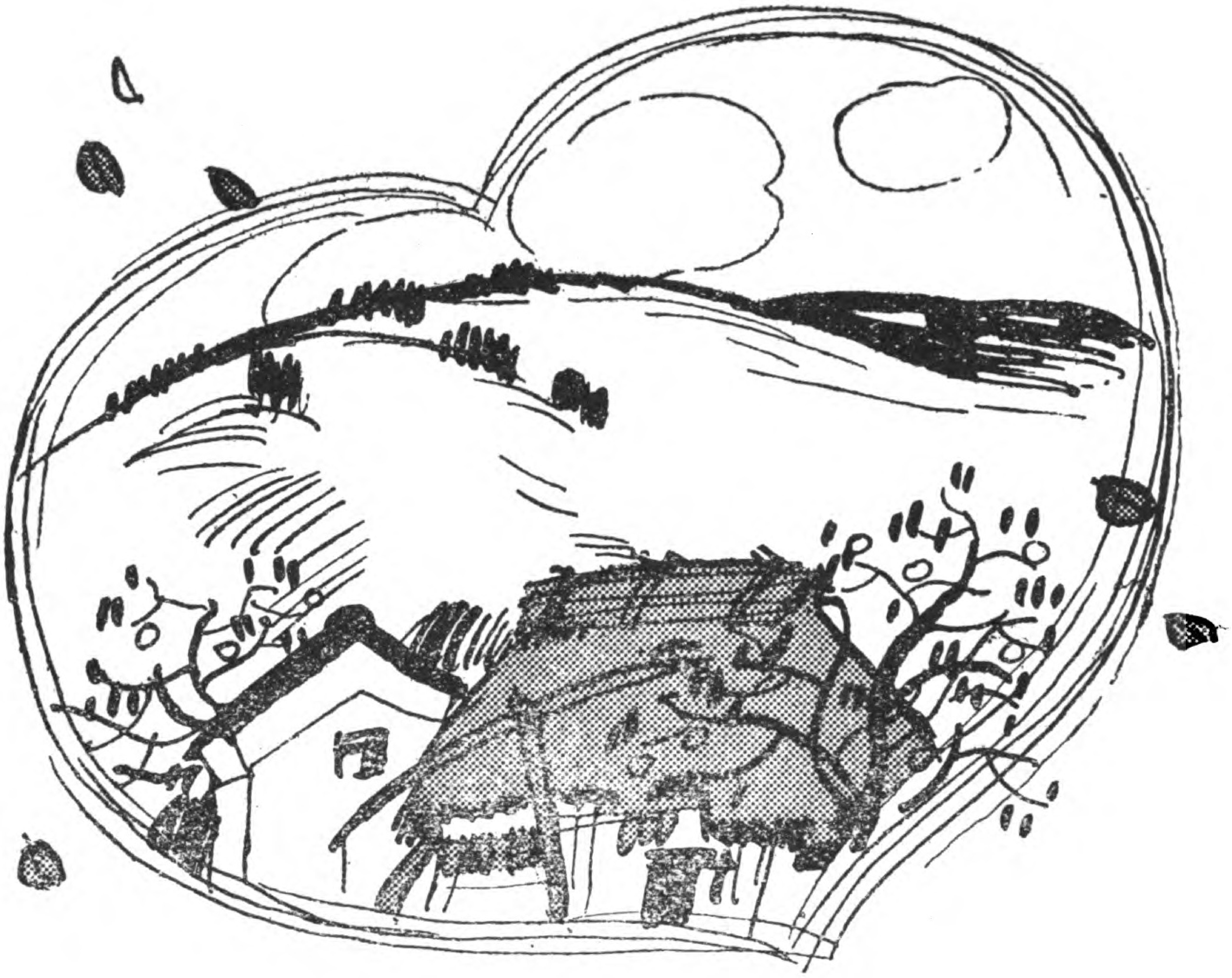
きしゆくの窓より故郷の方を見ると、山に似た雲がふはり〱と浮いてゐました。

「あの雲がざいしよの山ならいゝわねえ」と、仲よしのみいちやんが云ふので、

「何故なの、」とあきち

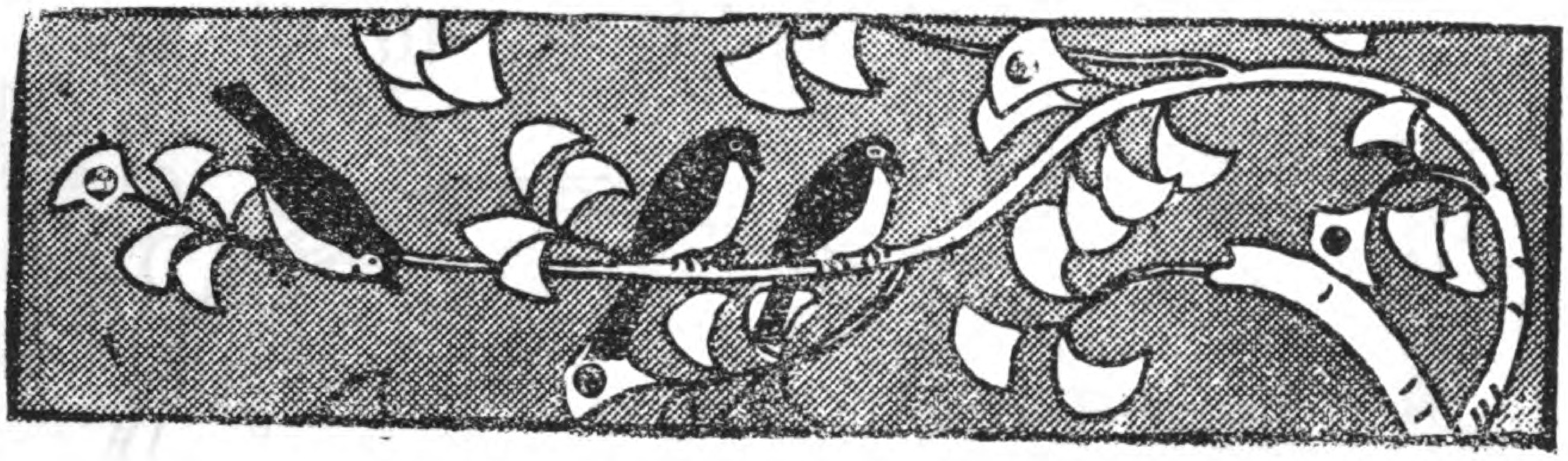
二

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA



やんが聞きますと、「なら、こゝはちようどあたしのうちよ、柿の實はもう赤くなつたらうし、阿母さんは、」といひはじめて、みいちやんはだまつてしまひましたので、あきちやんはへんに思つてみいちやんを見ると、みいちやんは袖で顔をかくして、しく／＼と泣いてゐました。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



同情心

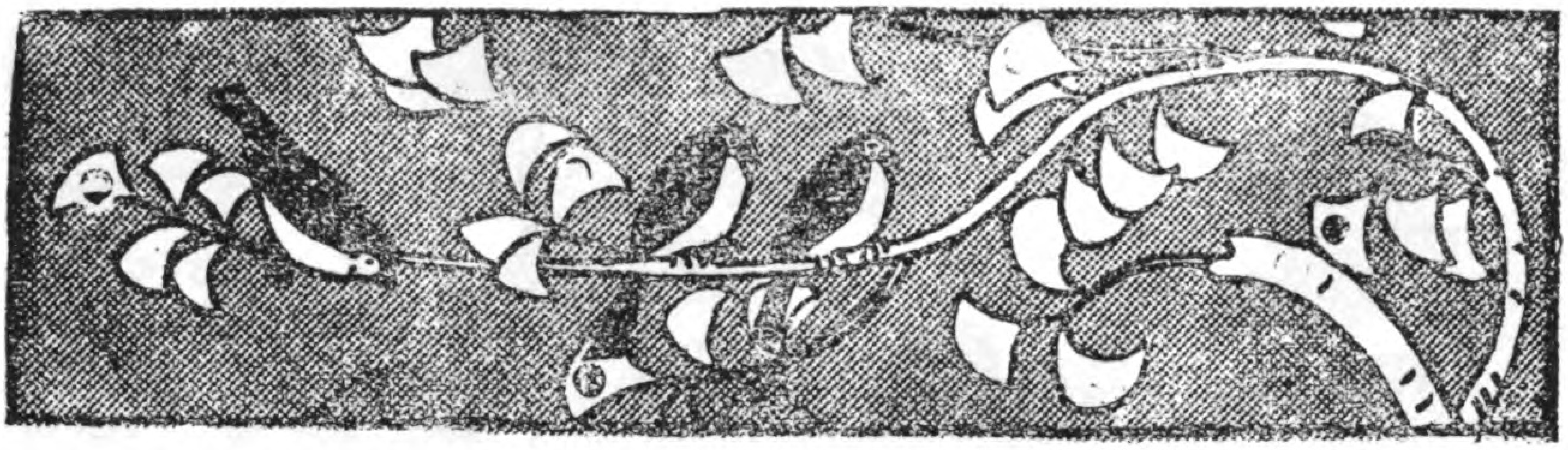
教育部長　油谷治郎七

「天には星よ地には花よ人のうちには同情の心」と西洋の詩人は歌ふてあります。淸かなる秋の夜に中空に燦く星の光は、實に言ひ知れぬ美しさを示してゐます、其星の光と比ぶべきは人にありては同情の心であります。彌生の春に咲きにほふ櫻花、夏は朝顏秋は菊、雪中に薫る梅の花、日時打々に咲く花の若しも地上になかつたなら、如何に世界は淋いことでありませう。人の心の花と云ふべきは同情の心であります。否、同情の心は花よりも星よりも更に麗しく思はれます。

同情の心は我身と人の身とを一つに結ぶのであります。我ならば斯くもなりたいと思ふ心を推して人に及ぼすのであります。

悲むものと共に悲むのみでなく、喜ぶものと共に喜ぶのであり

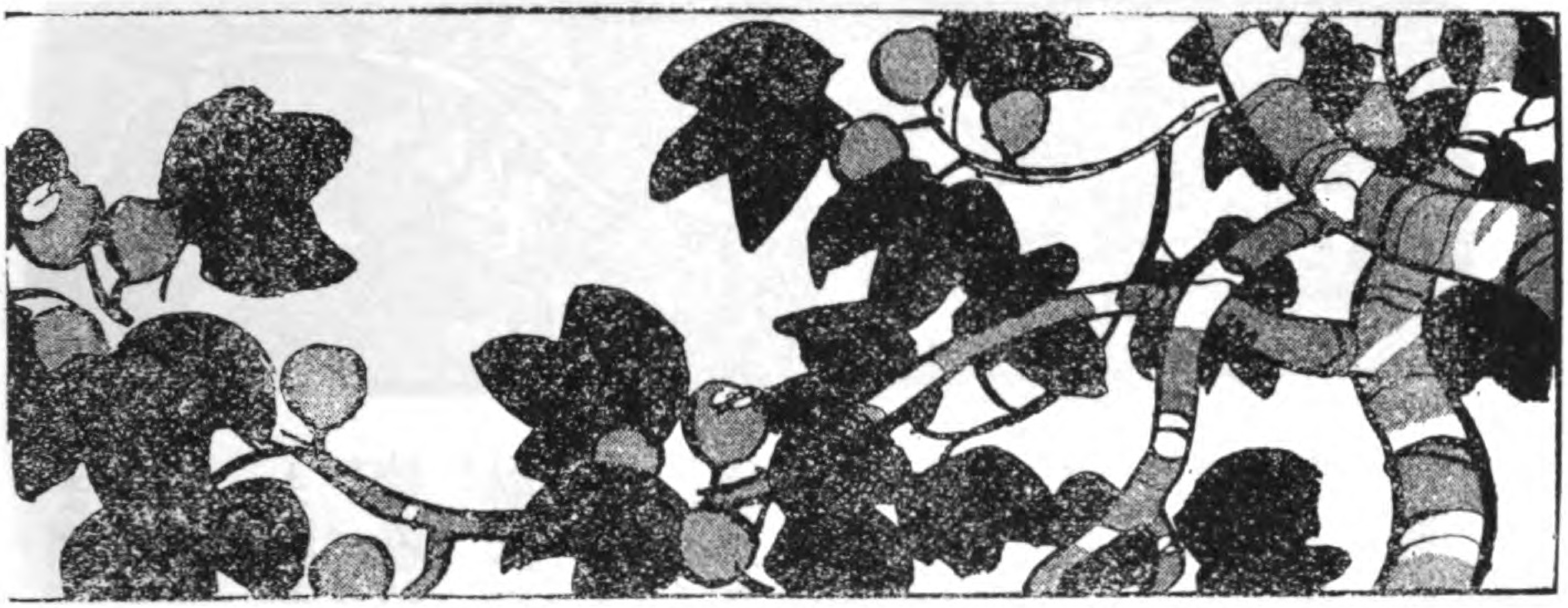
Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA



ます。思ひやり思ひやられるのであります。一家族のうち一工場のうち又は一の團體のうちに、斯やうな同情の心が潑溂として動きまするは最も美はしく最も幸なることでありませぬか。鳥は木に棲み魚は水に住み人は同情の心に活く。同情の心のなきところは淋しく冷く荒じくて堪へられるものではありませぬ。

人の心は妙なもので、美はしき方を精々養ひませぬと醜き方は成長するものであります。友の上進を聞ては喜ぶべきであるに却て之を嫉み、人の失策を見ては共に悲まずして却て之を嘲る。或は妬み或は誹り或は憎み或は辱かしむるなど、全く同情の心の消え失せたかと思ふやうな人もあります。斯かる人の醜くきことは雨に打たれて色香の失せた花よりも醜くい。朝な夕な鏡に向つて顔や貌の美しかれよと心を砕くやうに、其醜き心のあり〳〵と人生の鏡に映るを耻かしと思はねばなりますまい。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



新子守歌

清水都代三

とんとんとろりこ、とんとろり、とろとん、とろり
と、鳴る音が、坊やのお寢間にや、まだ來ぬか、來
なけりや、迎ひにまゐりましよ、海山越えて、鬼ケ
島、鬼のゐぬ國、ねんね島、」

とんとん、とろりこ、とんとろり、とろとん、とろ
りと、鳴る音は、
黄金の臼やら、銀の杵、
寢る子のお土産にせうとてか、
日本一の黍團子、
輕い葛籠も用意して、」

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

とんとん、とろりこ、とんとろり、とろとん、とろ
りと、舂く杵は、
月姫樣のお使ひか、
かちかち山の兎さん、
狸もお惡戯をやめにして、
寢る子にお守の腹づゝみ、」
とんとん、とろりこ、とんとろり、とろとん、とろ
りと、鳴る音に、
合せて雀もをどりましよ、
坊やが行こなら、枯れ枝に、
眞赤なお花も、咲いてましよ、
夢はもも色桃太郎」

（讀賣新聞募集の一等子守歌）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

にこやかに咲き競ふてゐる―

東京電氣の職業婦人

友愛婦人記者　平澤計七

▲じみ〳〵した雨の日が續いて、人の心は籠の中に押し込められてゐる小鳥のやうにやるせない思ひに閉ざされてゐたのが、急に大空へ放されたやうに、、、カラリと氣持よく晴れ渡つた或る小春日和の日でした。神奈川縣は川崎驛で電車を乘り捨てた記者はどんな人達に逢へるかしらと胸をおどらせながら、初めて行く東京電氣株式會社川崎工場の門をくゞると、まあ什麽でせう。其處には大勢の工女さんたちが誰に氣兼苦勞もなく、自由に、のんびりと思ひ〳〵に遊び戲れてゐるのでした。白いエプロンをかけた可愛らしい姿で鬼ごつこをやつてゐる人もあれば、恐ろしく高くブランコを往復さして居る花のやうな運動家もあります。たくさんつまれてある箱の傍で二三人睦ましく語つてゐる人にも暖かい秋の日が照つてゐます。歌つてゞもゐるんでせう、嬉しげにそゞろ歩いてゐる人の髪の飾りにもお日さまはにこやかに笑つてゐました。記者も思はずほゝえまずにはゐられませんでした。

女王の國！　何となく左樣思はれました。だつてね小鳥のやうに笑ひ樂しみ遊んでゐるのは工女さんばかりで、男の方は職工さんでも事務の方でも、工場の前に佇んだり、腰かけたり、又は事務所の窓から工女さんたちの遊びを羨ましげに見てゐるばかりですものねえ、全く女王の國です。なかにはあんなに

飛び廻つて、着物を破つて家へ歸つてから阿母さんに笑はれはしまいかと案じられるやうの活潑の女王もありました。

▲午後一時。就業の汽笛が鳴り渡ると女王はしとやかな工女さんになつて三々伍々其工場工場へ急いで歸ります。男工の方も工場へ入りました、事務の方々も食堂からテニスコートから、球突場からぞく／＼と三階建の白く綺麗な建物へ歸つて來ました。記者も續いて建物へ入つて營業部長の伊藤二三さんに御面會を求めました。

伊藤さんと云ふ方は人格の高い同情の深い方であると記者は見受けました。今迄他所にあつた工場のやうに、女工工女といつて頭から威張つて押さへつける事は大不贊成で、工女さんたちを立派な職業婦人として尊敬しお友達となつて諸共に助け合つて行かうと云ふ理想をお持ちになり、それをまた實際に行つてゐらつしやるお方です、ですから友愛會には至極贊成で是れ迄

伊藤二三氏（前の方）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に會の爲めに非常なお力を借して下さいましたお方です。で、其工女さんの爲めにいろ〳〵の良い事をなされたお話を承つて感心し、さていよ〳〵小坂さんと被仰る方の御案内で工女さんたちの働きつ振りを見せて戴く事となりました。

■工女さんの仕事はいろ〳〵ありましたが、其多くの人は、電氣の球の中の眞をこしらへていらつしやいました。青い瓦斯の燃える小さい爐のある机を前に晝ながら明るい電燈の下で一生懸命働いてゐらつしやいました。硝子の細い管を瓦斯で燒いてそれをふくらませたり、ちぎつたり、細い針金をつけたり見てゐると面白いやうに思はれますが、細い〳〵細工ですもの、おこしらひになる人には嘸氣骨が折れてくつたくな事でせう。男の手などではとても〳〵面倒臭くつて十分間とも仕事は出來ますまい。

■皆様の年の頃は十五から六、七、八、九、二十歳位です、丸髷を結つてゐる人もちらほらありました。皆様は多分常に良い滋養物をお食べでせう、其證據

には皆様のお顏の血色はみんないき〳〵してゐます。皆様は多分どつさりお金をおとりになるでせう其の證據には皆様の衣類は美しい衣類で木綿着の方は二十人に一人、三十人に一人と云つたやうな風です。皆様は定めし愉快に面白くお暮しでせう、其證據に皆様は神様のやうな晴々したお顏をして邪氣なくしかも熱心に天職をお盡しです。

青色の小さい瓶に小さいコスモスの花を挿て机の上を飾つてゐた方もありました。懷しいお心掛です歌などお詠みの方ではないでしやうかしら。

小さき花みつめてあれば、あな尊と
　眼つぶりて、み神たゝへん。

■課長さんの御案内で三階へ昇つて文庫を見せて戴きました。雜誌やら書物やらがぎつしり書物棚につまつてゐて、皆様がたくさんお讀になる事を待つてゐるやうでした、ほんとにこんな設備をして下された課長さんは親切なお方です、皆様も課長さんの御親切を無にしないでお忙しくはあらうが、勉めて本

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

を御讀みになる事をおすゝめいたします。

■三千燭光の大きな電球を見ました。課長さんのお話では此工場ではこんな大きい電球も出來るが、又小さいのになると五燭の十分の一の小さい電球も出來る相です。出來上つた電球の試驗をしてゐる所も見ました。幾十と云ふ電球が強い光で照り輝いてゐました。あの強い光で東京電氣會社とは反對に工女さんをいじめて自分の慾ばかり肥やしてゐる惡い暗い工場を照らしてやつたら、嘸氣持がよからうなぞと記者は考へました。

其傍には大きい瓦斯爐なぞがあつて、傍の柱にかゝつてゐた寒暖計を見ましたら丁度華氏の百度ありました。働いてゐる人達はみんなたら〳〵汗を流してゐます、しかし其處には工女さんは一人もゐませんでした。工女さんの働き場は瓦斯を使つてゐる割には餘程涼しく普通の所と變りはないやうに思はれましたが、それでも夏は暑いでせうと御同情申上げます。

■之れに對して會社ではなか〳〵考へてゐられて、少しながら風を送つてゐる所もありますし、生水は毒です故、湯に一度沸したものを冷たくしたり、所に依つては湯のまゝに絶えず所々方々に供給してあります。強い光線の下で細かい仕事をするのです故工女さんたちの眼を痛めはしませんかと聞きましたら、仕事に馴れるからそんな事はない相です。成る程熟練の功は恐ろしいもの、眼に見えないやうの穴に細い〳〵針金を通すのに、ずつと眼から遠く離してきぱきと仕事をしてゐる工女さんもありました。

■火事とか其他の事變のあつた時、もしも大勢の工女さんが慌て騷いだら、其爲めに飛んでもない大怪我大間違をしないとも限りません、其恐れを無くする爲め會社では一週間に一度位宛避難試驗をする相です。今日は一番避難試驗を御覧に入れませうと課長さんは被仰つて、一聲高く警笛を吹きますと、俄にがた〳〵と工場中大騷動が始まりました。續いて、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

びい〳〵と再ぶ笛を鳴らすと工女さんたちはおやおやと思つてゐる間に靜かに規律正しく連つて、定められた出口々々から立去つて仕舞ひました。立ち去る前に瓦斯を消し椅子を机の下に入れる規則だ相であります。規則通りにいつてゐるか什麼かと思つて記者は調べて見ましたら殆ど間違ひなく出來ましたが、たゞ椅子を机の下に入れるを忘れたのが三つ、瓦斯を消すことを忘れたのが一つありました。多分其人達は仕事を熱心に仕過ぎた爲めか。左樣でなくば昨晩惡い夢を見て眠れなかつた人でせう。はゝゝゝゝゝゝゝゝ。間違つたら御免下さい。第一の警笛が鳴つてから全部立去つた迄の時間は約五十秒歸つて來て仕事を始めた迄が約二分と四十秒、其時間の短いのには驚いたが、それよりも工女さんたちが傍見一つせず無駄口一つきかずにきちん〳〵と規則正しく行動したのには全く驚かされて仕舞へました。よく遊びよく働くといふ俚言は此會社の工女さんの爲めに出來たのではあるまいかと思ふ程です、進歩せる溫情主義萬歲！

■未だいろ〳〵の所を見せて戴きたかつたけれども大井工場へ行くに時間がありませんので、こじんまりと清潔な病院を最後に見せて戴いて御親切の會社のお方々とお別れをしまして門を出ますと、もう直きに除幕式をなさらうとする會社の最大功勞者工學博士藤岡市助氏の銅像が柔かい秋の日を浴びて會社を安らかに守つてゐるやうに見えました。

■川崎工場の女工さんは約三百五十人だ相でありますが、同じ會社の大井工場の工女さんは約五百人だ相であります。大井工場は技師長の前原仙太郎氏が御案内して下さいました。氏は前原仙太郎氏なぞと固苦しく云ふよりも前原先生とお呼び申したい程に情味の深い老爺さんです。けれども此先生はむづかしい事を云つて生徒を困らせるやうの先生では無論ありません、面白い事を云つては生徒を喜ばせる尋常小學の一年生の先生のやうの方です。先生は田舍の中學校で眞實の先生を永らくおやりだつた相であ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

りますが、嘸生徒が深くなついた事であらうと思ひます。

■先生の溫情がどれだけ深く工女さんの胸に響いてゐるかと云ふ事は眞先に訪れた醫務室に集つてゐたトラホームの工女さんたちが大變な笑顔で先生を歡迎された事でわかりました。工場で働いてゐる人達も先生がお廻りになるのを喜んで歡迎しました歡迎すると云つても、何も聲を出したり手を叩いたりして喜ぶと云ふわけではありません、さあ一生懸命働いてゐる仕事振を見て下さいと云ふ意氣込が、おのづと顔色に現はれてゐて、見て廻る人には素敵に氣持がよいのです。或は工女さんたちは、先生よくお出で下さいましたと御挨拶したいのをじつとこらへてゐるのかも知れません、何故ならば先生は眼と手と、そして耳と口とは別々に働いて下さいと常に工女さんに被仰つてゐる方であるからであります。それは何の事かと云ひますと、人からものを聞かれた時はそれを耳へ入れてそして口で返辭をしろ、然し眼は絶えず仕事を見てゐて、手は絶えず仕事をしてゐて下さいと云ふ事です。たとへば先生がある工女さんに、

「一日に此仕事はどの位出來ますか、」とお聞きになると、工女さんは耳で其言葉を聞いて、口が、

「はい六千本位出來ます」とお答へをするけれども眼と手とでは絶えず仕事をやつてゐます。

「此仕事は千本どの位ですか、」と記者が聞くと矢張働く眼と手は止めずに、

「千本十錢ですわ。」とお答へになります。

「あなたはおいくつですか。」

「はい、十六です。」

「十六歳の工女さんで六十錢、なか〳〵い〻給料ですね」と記者は餘計な事を云ひますと、お答へする限りでないと思つたらしく、工女さんの口はひたつとしまつてゐて何も云つて呉れません、眼と手とは相變らず御熱心に働いてゐます。

■此工女さんの製作してゐるのは豆ランプで、歐洲

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の大戦争に行くのだ相であります。豆ランプの一日の製作品は此工場だけでも二萬個、大和撫子の優しい手に製られたのが、人を殺し合ふ異國の戦場を照らすのかと思ふと、何となく感慨が深うございます。

■大井工場にも男の運動場も無論女の運動場もあります、お休みの日でも工女さんたちは工場へ來て、遊ぶ相であります。職員用だけではありますが倶樂部も新らしくおこしらへになつたのを見ました。其の建坪は四十坪ですから百五十人位は入れませう、工場ばかりの友愛會の集會の時にはお借り申す御約束をしましたから、會の幹事の方々は御承知を願ひたい。

■よく世間では工女の工場生活は悲惨のものであると云つて工場を憎む人がありますが、之れは飛んでもない間違ひではありますまいか、もし工女の工場生活が悲惨のものであるならば、それは其工場の罪と云ふよりも寧ろ工場生活を可愛い娘さんにして貰はねばならない家庭をもつてゐる社會の罪ではありますまいか。既に子女を工場へ送らねばならない家庭がある、其子女をして相當の賃銀で働いて貰ふと云ふのは工場では當然の事であつて、しかも其工女の衛生を思ひ、修養を思ひ種々の設備をして呉れる工場があるならば、其工場は一面から云へば社會の恩人ではありますまいか。東京電氣株式會社は此點に就いては社會の恩人であると推揚するを記者は憚らない。

■然し親愛なる工女諸君、あなた方は將來人の妻となり又人の母となる可き身體であると云ふ事は常に忘れて下さいますな。其爲めには御ひまもありますまいが、眞面目に御自分達の將來の爲めに御修養下さいます事を謹んでお願ひいたします。

■來月號には「牛肉と魚」と云ふ、前原先生の面白い話を御紹介申します。

働かん働き居ればわが胸に
み神の聲の絶えず漂ふ。

懸賞ヱハンジ

此繪には間違つてゐる所がいくつもあります

みんなあてゝ下さい

■〆切十一月十日　御自分の住所と姓名とを詳しく書くこと

■宛所は友愛婦人編輯係　正解者に繪葉書を贈ります

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

太古の女工と傳説の女工（二）

松美佐雄

而して遂に今日の隆盛を見たのだと云ふ事であります。

事實桐生在の仁田山村へ行きますと、機神様と云ふ白瀧神社がありますが、この傳説の如きは後世の拵へもので。何等の據るところもありませんが、然しこの官女が來たために、機業が殖産事業となつて今の桐生織物の基をなしたと云ふ事が動かされぬ事實であります。

私共の研究では、この官女と云ふのは女工だらうと思ひます。白瀧神社と云ふのは、よく地方にある神様で、全く伊勢神宮、即ち天照太神を祭つたものでありますから、白瀧と云ふ名も之れからとつて後世村人が歌など〻共に拵らへたものと思はれますが、兎に角一女工が京都方面から來て、機業を敎へたと云ふ事は實際でありますから、此點からは機神様が例へ女工であらうが何であらうが、有難い神様となる譯であります。

斯う云ふ例は桐生ばかりではありません、他の地方にもよくあるのでありますが、例へ其の傳説は嘘であつても、殘つて居る事實から考へて見ると、尊いものでありますから、女工でもかう云ふ事業の先祖は、官女白瀧姫として崇め尊んで置いてもよい譯にあります。

斯う云ふ點から考へて見ましても、女工と云ふものは自重しなければならぬ筈であります。嫌々ながら紡績工場なり織物工場に務めた女工が故郷に歸つ

た後、家計上の都合から工場で習つた仕事をせねばならぬ樣になる事はよくある筈であります。從つて、之がその地方の殖産事業になつて地方の富をますやうになりますと、イヤでもオウでもその女工がその事業に對する最初の人後世には傳説の神となつて生きるのであります。

斯う云ふ事は男の例にもあります、信州の安曇地方に、センコ糯と云ふ稻があります。この糯は越後の小千谷に出稼ぎに行つた仙公と云ふ無教育の日傭取りが持つて歸つたのです。

仙公が之は大變によい稻ですから作つて御覧なさいと近所へ呉れたので、近所の人々は、仙公が何を云ふか位で作つて見ますと、非常によい糯であつたから仙公を輕蔑しながらも、仙公糯センコ糯と云つて皆作るやうになつたのであります。

友愛婦人の讀者も、生きて神となる事は出來ませんが、各自習ひ覺えた仕事を副業のない田舍に持つて歸つて、形を變へてゞもよい始める時は、後世傳説の神となる事は出來るだらうと思ひますから、仕事其物について皆樣も忠實になさる方が好いと私は思ひます。

お金持と子供

或るお金持がどつさりお金を持つて、どこかへ惡遊びに行かうと思つて自働車に乘らうとしました。すると其顔をしげ〲と見てゐた六つばかりの可愛らしい子供が、可愛らしい聲で聞きました。

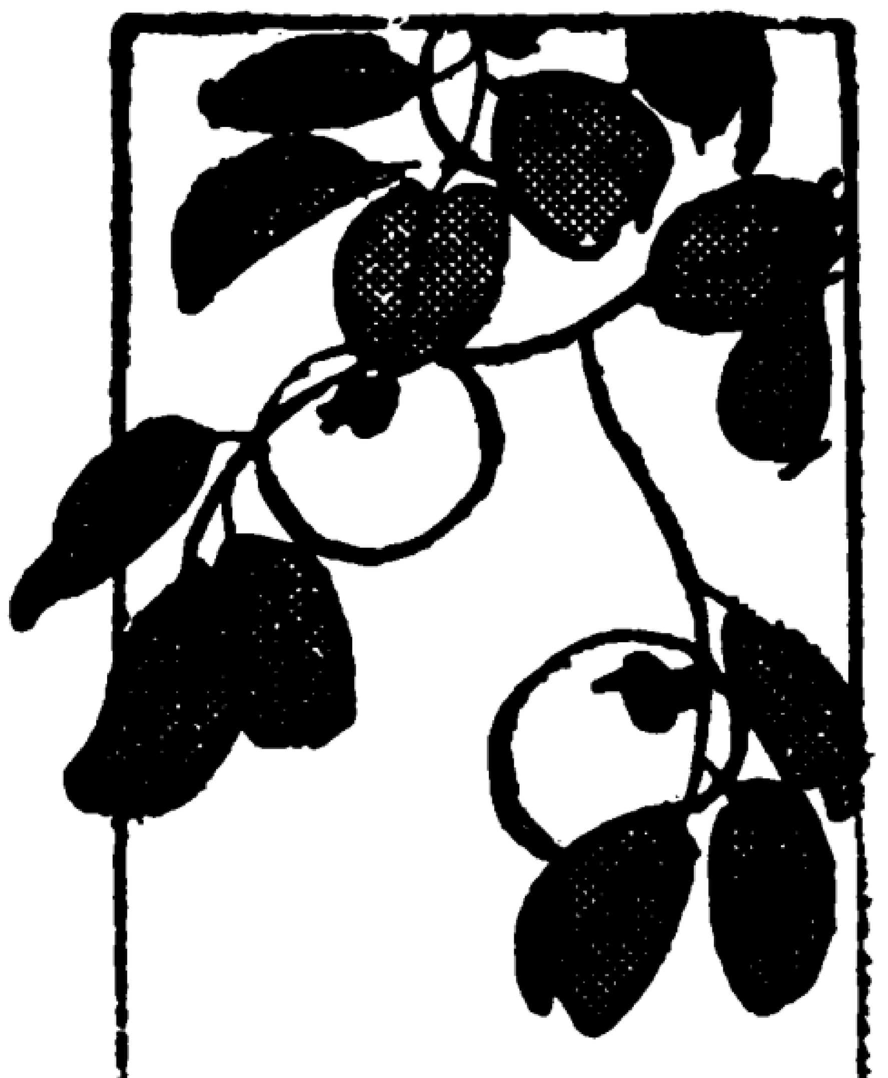
『お父さま、何處へ行くの。』

『さあ何處へ出掛けやうね、いつそ極樂へでも行かうかねえ』と、子供に冗談を云ひますと、子供は吃驚したやうに眼を圓くして、そして氣の毒さうに斯う云ひました。

『お止しよお父樣、極樂へ行くには自働車の油が足りないことよ。』

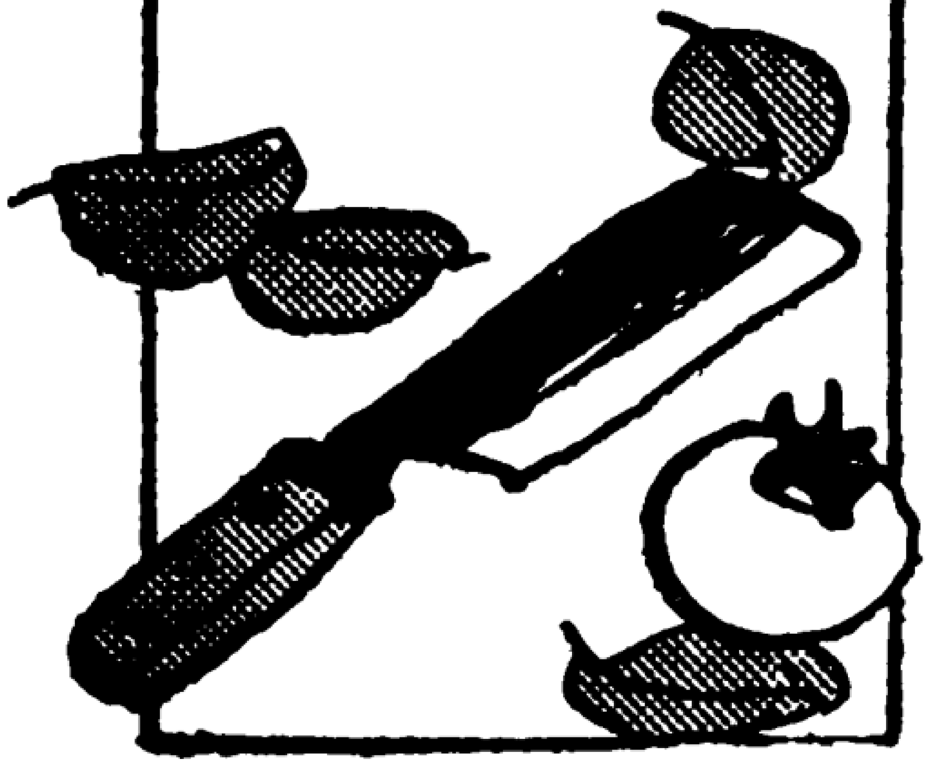
成る程、子供と云ふものはうまい事を云ふもんですいくらお金をどつさりもつてゐるお金持でも惡所通ひが好きな程ならば、極樂に行くには自働車の油が足りないに違ひありません。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



教育講談 鉈(つゞき)

三浦樂堂



森嚴の氣堂に滿ち、是れを望むと面は唯譯もなく恐ろしくなるのでありました。奉行は涙を拂ひ。

『幸内。其方は(我身をつねつて人の痛さを知る)といふ世の諺を知るか。どうぢや。予は其方がタッタ一人の倅を失つて悲嘆の餘り逆上なし、逆緣ながら我子の仇を討たして呉れいとの願ひは、無理とは思はん。さりながら原因の起りは小供同志の惡戲にて意趣遺恨の業ではない。幸七が其方に取つて大事の子なら、半藏は林右衞門の一粒種ぢや、其半藏が汝の手にかゝつて死んだなら、林右衞門夫婦の嘆きはどうぢや。打たれて痛いは我れも他人も皆一つ、其方は、林右衞門の夫婦の心を察してやらぬかッ!。と申した所が、我子の愛に溺れた其方の耳には入るまい。林右衞門、無き緣と諦めて半藏は、幸内に渡し遣はせッ!。

尚一同に申し達するは、此度の如き事起りしは全く奉行の不德のためぢや、天地に對して民百姓しても愧づべきの至りと思ふに依つて、奉行は今日限り職をやめ當地を立ち去る覺悟ぢや。さすれば一同も之れが別れぢや。隨分身を堅固に達者に暮らせッ!。御用は濟んだ一同立ちませッ!』

蹶然立つて奥へ入らうとした時。此時まで一語もなくて、唇を嚙んで聲を忍んでゐた幸内が、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

幸『お奉行さまッ！』
と衝立ちあがる。
奉『何ぢや』
奉『は・・はいッ！、俺が惡うございました』
言ひも果てず、其場へ泣き倒れました。
幸『惡かつたとは何か？』
幸『只今のお裁判お取消し下さりませ、思へば頑迷い俺が心、先日より度々のお說諭もうわの空に聞いてましたが、只今のお言葉で無明の夢から醒めました。お奉行さま、ご一同の衆、どうぞ許して下さいませ』

と、町田主計が情を盡した言の葉に、始めて本心の善に返つた幸內が、己れの不覺を詫びて穩便な沙汰を望みましたので、萬事は都合よく運びまして薄命なりし幸七のために林右衞門が立派な石碑を樹て懇に菩提を弔い、尚其上に相續者を失くした幸內を憫み、己れの家にある一粒種の半藏を幸內の養子に遣はしましたので、幸內夫婦の喜悅は譬ふるに物なく、昨日の敵今日の親戚、互に睦び合ひましたのは目出度き限りでござります。

友愛婦人講演會

此頃友愛會の例會に御婦人の方が多く見えられます。十月二十三日の城北支部の例會にも見えましたし、其晩の川崎支部の例會には五十人程來られました。二十四日には西方支部、二十五日には深川支部、二十六日には本所吾嬬の聯合例會、十一月三日の千住支部にもたくさんの婦人會員がお出でになる相であります。來月頃から婦人部の規則通り婦人ばかりの講演會を面白い餘興なぞをいれてやらうと思つてゐます。會社のなかで講演會なぞおやりの時は、もしお差支へなかつたならば、婦人部の講師先生達は喜んで參上いたしたいと被仰つてゐられます。

（編輯小僧より）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

オトギバナシ

『一』

むかし〳〵神様は、人間のする事がだん〳〵惡くばかりなつてゆくといふ評判をお聞になつて、大層御心配の餘り御自分で人間のする事を見て來ようと仰有つて態と人目に立たないやうにぼろ〳〵の衣服を着て、竹の杖をつき乞食のやうな風で人間の住んでゐる里をとぼ〳〵と出て來られました。

『二』

神様は今裸足のまゝで野原をお通りにならうとすると、向ふの柳の木影から若い羊飼の男が澤山な羊を牽て來ると聞いて遠くから羊飼の側に寄つて來ます、神様は夫を御覧になつて『羊飼つて大層面白いもんだな』と申されました、すると羊飼はじろ〳〵神様の方を見て『乞食爺め默つて居ろい』と突慳貪に言ひました。

* * * * * * * * * * *

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

『三』

神様は羊飼の顔を見て『若い衆そんなに邪慳に物を言ひなさるな、私は老人ぢや、そして加之に長い旅をして來たので腹が空いてゐるお氣の毒ぢやがお前さんの飼つてゐる羊のなかで一番美味さうなのを一つ燒いては呉れないか、値段は幾らでも出すから』と言つて金をちやら〳〵鳴らしてみせました。するると羊飼は新しい履が欲しいと思つてゐた頃なのでお金が儲かる事ならと二つ返事に承知致しました。

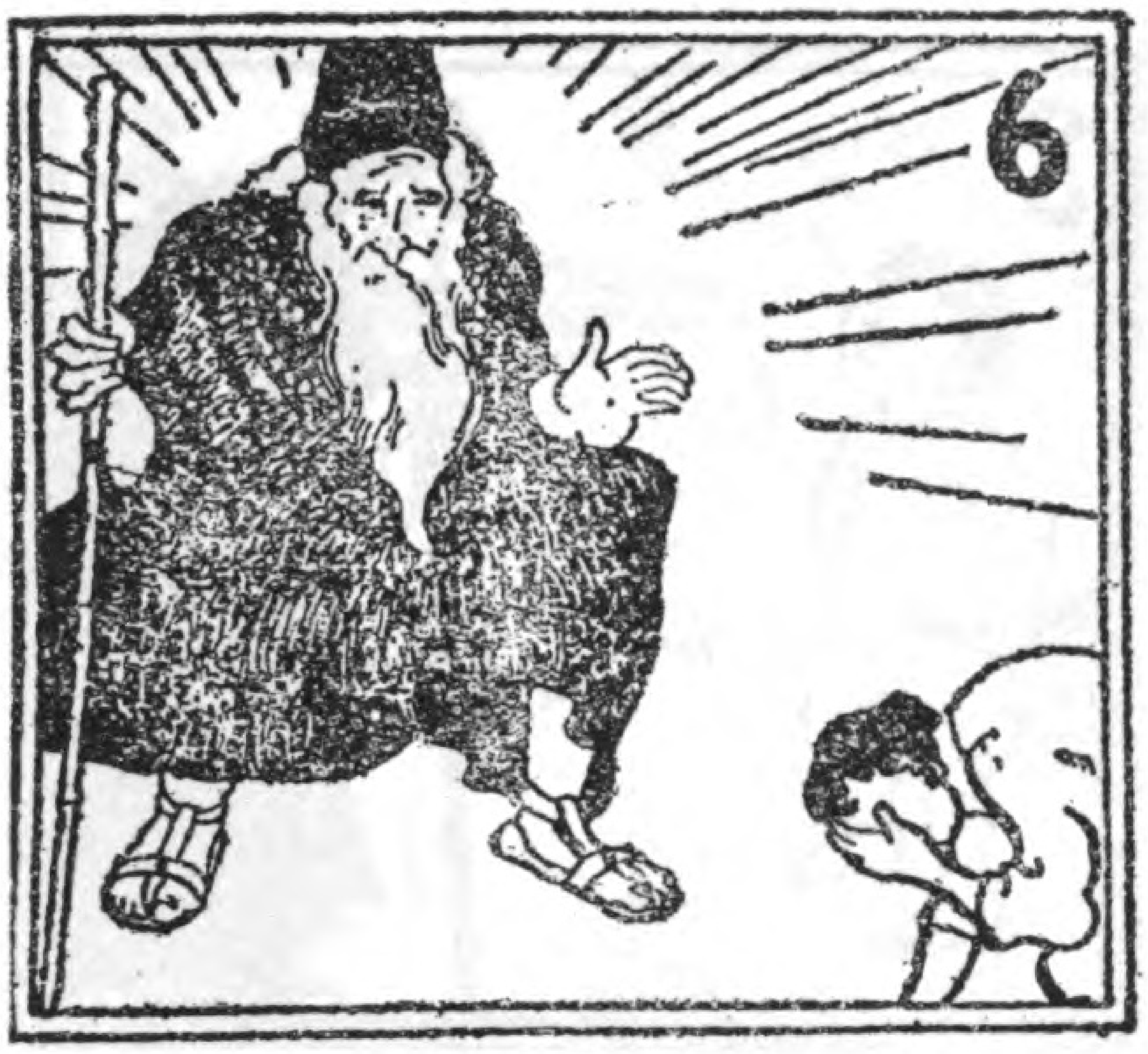
『四』

羊飼は羊を料理しやうと思ひましたが何うも惜しくて仕方がありません、そこで惡い事を考へついて羊の代りに猫を料理しにかゝりました『あんな薄汚い貧乏爺だ羊と猫との味は迚も食分けは出來なからう、一つ宅の三毛猫でも頬張らしてやらう』と言ひ、嫌がる猫の皮を剝いで背の肉を取つて串に刺して火の上で夫れをこんがりと炙りました。

* * * * * * * * * * *

二一

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA



『五』

羊飼は炙つた肉を神樣の前へ出して『さあ腹一杯食べなさい』と申しました、神樣はその肉を見ると、どうも羊のではなく猫の肉らしいものですから其肉を掌面にお載せになつて『羊の肉なら私の掌面でじつとして居れ、猫の肉ならやつとこさと逃げ出せい』と仰有ると掌面の肉片から手足がすつと伸びて可愛らしい小猫になつたと思ふと、猫は神樣の肩を飛び越して逃げてしまひました。

『六』

神樣は大層お怒りになつて『羊の肉を約束しながら、猫の肉を焼いて出すとは何の事だ不屆者めが』とお言ひになると急に身體から光が射して、薄汚い乞食爺さんとは打つて變つた立派な神樣となられました、羊飼は吃驚して『どうぞ御免下さい、この後は決して惡い事は致しませぬから』とおお詫をしてお宥しを得ました、この噂を聞いて人間は皆善くなりました。

* * * * * * * * * * * * * *

工女を愛する獨逸皇后

法學博士　山脇　玄

勞働婦人は國の爲に大事な人

獨逸皇后様

歐洲の大戰爭が始まつてから、もう二年餘りになります。その間獨逸は敵の聯合軍を一手にひき受けしかも自分の國は一寸も犯されず、いつも敵を苦しめ今日迄續けて居ります。その強いと勇ましいこと敵ながらも天晴の者よ感心せずには居られません。

獨逸の國民は、どうしてかうも強いのでありませうか。その原因は澤山あるが。獨逸の皇后陛下が世の中の婦人や子供、殊に勞働をしてゐる女やその家庭の爲めに、日夜心配して盡力して居られる事其一つであります。陛下が勞働婦人のために、そんなにお骨折りになるのは、つまり勞働婦人といふものは國家にとつては非常に大事の人達であるからです。

愛國婦人會の仕事

獨逸にはわが日本と同じやうに愛國婦人會といふ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ものがあつて澤山の資本金を持ち、實に盛んにやつて居ります。この會は看護婦を養成て、戰爭の時に負傷したり病氣になつたりした兵隊を看護する事を目的として設けられたものでございましたが、會長になつて居られる皇后陛下は勞働婦人のために力添へをしてやらねば不可といふお考へがあるので、今この愛國婦人會は勞働婦人のためにどれ程いろ〳〵と骨を折つて居るか知れないのです。そのなかで最も著しい點を申しますと、職業が無くつて困つてゐる人に、口を見つけてやる事、外に出て働く事は出來ないが家の中で内職をしたいといふ婦人のためにその内職の口を世話する事自分で賄をしてゐる暇のない勞働婦人のために賄所を置く事、仕事を求めたいために都に出て來る娘達を停車場に待ち受けて雇主に紹介してやる事、工女の病院と遊び場などかぞへ切れない程澤山ございますがも一つ申述べて置かなければならないのは、勞働婦人で赤兒を持つて居る人が澤山あるのを見て、働きやすいやうにその赤兒を養つてやるやうにして居られる事です。獨逸の勞働婦人達は仕事に追はれて、子供を世話する事が出來ないので、病氣にかゝらしたり、食物を充分に與へる事が出來なかつたりする事が多いのです。その爲に隨分澤山の子供が死にます。陛下は大變この事を心配されて、どうかして死なぬやうにといふので、研究所を設けて學者達にいろ〳〵調べさせ、その結果をひろく世間の人に知らせる事になさいました。皇后樣がそんなにお働きになつて居りますので、人民もこの會の爲めによろこんで金を寄附するやうになり、六七年前の調べによると、年に四十萬圓位のお金が集まつて居ります。

工女の爲にいろ〳〵の會

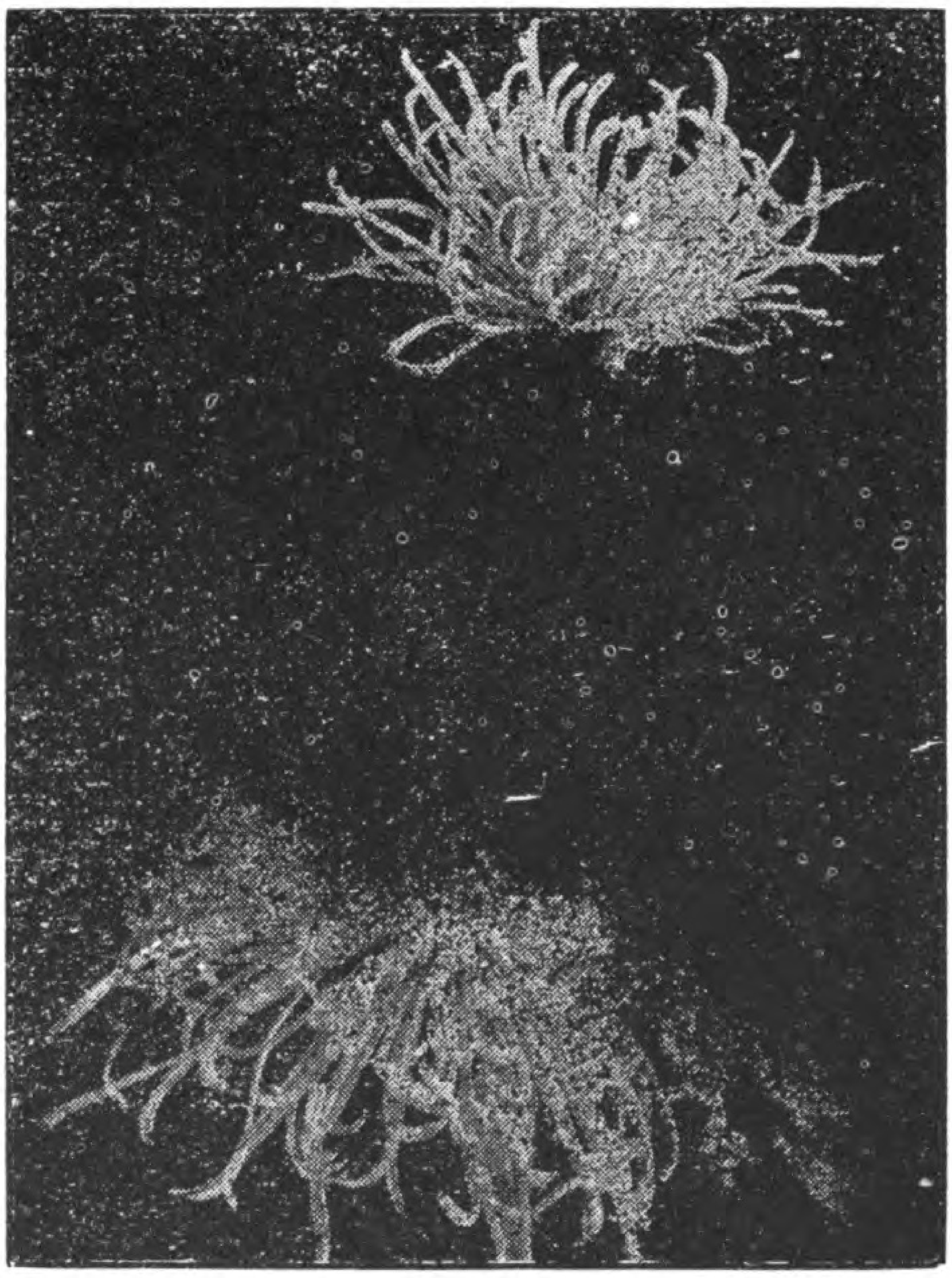
皇后陛下はこの愛國婦人會のほかに、少壯女子慰安會といふものを設けて居られます。之は未だ結婚せずに、工場や其他の所に働いて居る人々のために寄宿舍をこしらへ、會長を置いて一切の世話監督をさせて居るのです。此處に入會した人は、宿つたり、慰められたり、いろ〳〵相談にあづかつて貰つたり、丸であたゝかい家

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

庭に住んで居ると同じやうな安全な暮しが出來るのであります。又、この寄宿舍では仕事の紹介もすれば、教育もしてやるといふ實に親切を極めたものであります。

大きな町には、婦人のためにクラブを設けて居られます。そこではピアノ、ミシン、語學、美術品の製造、家事その他いろ〳〵の智識をさづける設備が出來て居りますが午後四時からと、日曜日一日は工女達が來てたのしむ事になつてゐて、その費用は皇后陛下がお出し下すつて居ります。

皇后陛下は前に申しのべましたやうな、御自分が關係して居ります會に時々お出でになりましていろ〳〵委しくお調べになり、注意をしなければならぬ處は注意し、改良すべきところは改良させるやうにして居られます。そんな風でございますから、皇后陛下と勞働婦人との間に起つた面白い話も隨分澤山あるのでございます。その内最も面白い話を少しお話いたしませう。



秋の女王

工女皇后陛下に電報をうつ

かつて獨逸の領分のエルザス地方から佛蘭西のある地方に雇はれてゐる一少女がありました。國に居る母親の病氣が危篤といふ通知に接してその娘はとるものもとりあへず出發しました。やがて國境を通りかゝらうとするときに、旅行劵を見せろと迫られました。處があまり急いだものでその持合せが無かつたのです少女は仕方がなく係の役人に向つて、實は母が急病なのですからどうぞ通して下さいとたのみました。然し役人は仲々承知しない少女はこゝに於てかたく決

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

心する處があつてその事を獨逸皇后陛下に電報をうつてお願ひしました。すると二三時間の内にその少女はゆるされて無事に通る事が出來たのです。之は全く皇后陛下のお情から出たのでございます。

病兒の誕生祝を遊ばされる

ある時皇后陛下が、田舍のある病院に行啓になりいろ〳〵御視察になつた時にある勞働者の一少女が病床にあるのを御覽になつて

「あなたは幾歳になりますか」

とおたづねになつた、少女は

「今日は七歳ですが、明日は八歳になります」

とお答申上げました。すると翌日實に綺麗な人形と繪本が誕生祝として何處からか送られ少女の病床を飾られました、之は卽ち陛下から賜はつたのです。

陛下と貧乏指物師の妻

ベルリンのウエーネル市の中のクローガウエル町の一隅に正直に日を送る指物師がありました。七人の子を持つたが、ある失敗から貧乏になり、子持を養ふ事に日夜心配するやうになりました。ある日の事です。何處からか知れないが、小包が來て澤山の着物を送られました。その差出人は誰だかわかりません、只伯爵夫人とばかり書いてあります、處が、その家の病人を世話してゐる看護婦が、その事の起りをよく知つて居て、それはきつとあのお情深い皇后陛下が遊ばした事に相違ないといふ、で指物師はお禮狀を書いて皇后陛下に差上げました。然るにある日の事、そのみすぼらしい指物師の家の前にとまつた美事なお馬車があります。中からあらはれたのは二人の貴婦人です。二人の婦人は家の中に入りお產あがりの指物師の妻の傍に來て、やがてその中の一人がいろ〳〵な言葉をかけられました。貴婦人は妻に澤山のお金を賜はりました。貴婦人にお伴をして來た一人の婦人は妻に向つて、

「あなたはこのお方を誰方樣と思ふか」といひます

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

と妻はしばらく考へて居りましたが、やがて微笑みながら

「おそらく皇后陛下でいらつしやいませう」

そしてお禮の申やうもなく感激の涙に咽びながら、後姿をいつ迄も〳〵拜んだといふ事です。

病婦の額に御接吻

オエインハウスといふ處に一船長の妻がありました。十四年來の病氣で床を離れる事が出來ずに苦しんで居りました。この妻はたつた一つの望みを持つて居る、それは生きて居る間にたつた一度でよいから皇后樣のお姿を拜みたいといふ事で、十何年間その事ばかりを思ひつゞけて來ました。たま〳〵皇后樣はある地方に行啓になるについて、このオエインハウスをお通りになるといふ、之を聞いた妻の喜びはたとへんものもなく、震へる手に一通の手紙をしたゝめました。「陛下よ、私は十四年來、たつた一度たりとも陛下のお姿を拜みたいとねがつてゐる者です、然し病氣で外に出る事が出來ません、せめて病床からでも拜みたいと思ひますから、私の家の前をお通りになります時は特別にお馬車を遲く歩ませて下さいといふ文面です。

もとより陛下から御返事のありやうはありません妻は萬一を期したあのお願が叶ひばよいがと祈つてゐたが、とても駄目でせうと内々諦めてゐたのです然るにある日の事、一人の官女がこの家に來て、

「陛下は大層お忙しいので、あなたをおたづねする事が出來ません、で、あなたの方からお出でになるやうにといふ仰である」といふ、

妻の驚きと喜びは一通りではありませんでした。けれども病床にあつて一歩も外に出る事が出來ないのでその光榮に浴する事が出來ないのです。妻は誠に殘念至極であるがと申上げた、官女は之を聞いて「陛下もさぞ殘念に思召されるであらう」といふ言葉を殘して立ち去りました。

然るにその翌日計らずも皇后が親しくその家にお出でになりました。そして慈愛のあまれるお言葉を以ていろ〳〵となぐさめられ、且つお歸りになる時に妻の顏に尊い接吻を與へられました。妻の喜びはどれ程でございましたでせう、想像するに難くないのです。

皇后陛下は實にかやうに勞働婦人又は勞働者の家庭をお愛しになつて居られるのです。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

日本の女の體つきは醜い

醫學博士　田代義徳

姿勢を眞直にして立つたり歩いたりしてゐるのは他から見ても愉快に感ずるが、之に反して惡い姿勢を見ると誠に心持ちが惡いものです。所が殘念ながら日本の女は大方醜い樣子をして居ります。それならばどうしたら姿勢が立派になるかといへば、只身體を眞直にせよといふより他ありません。日本の女は今迄の習慣や衣服の關係もありませうが、前こゞみで、肩がゆがみ、足が曲つて居る、日本服で見ても左樣であるから、西洋服でも着せたら猶をかしいでせう。

私が獨逸に行つて、伯林の銀座通りともいふべき街を歩いた時、往來の男女が皆眞直な姿勢で堂々と歩いてゐる立派さにおどろいた事がありました、之と反對に我國の銀座邊に行くと醜い人達ばかり歩いて居るやうな氣がして、なぜあの姿勢を直さずに平氣で歩いて居るのでせうと不思議に思つたのです。西洋では日本人の畫を足を曲げて書きます。足の曲つた國民は日本人だと思つてゐるのです。之を直すには別に方法も苦心もありません。只自然のまゝで殊更に意志の力、筋肉の力を借らず、只眞直にすればよいのです。背を板のやうに平にしてはいけません。凹かるべきところは凹く、又、肩の如く出るべ

き處は自然の型に叶つてゐるのがよろしいのです。

女子の姿勢は十歳頃までは丸背で醜いものですが十四五歳の頃になると、お尻の骨が發育するのと當人が氣をつけはじめるのとで、可成眞直な姿勢になりますが、この時醜いくせをつけぬやうにして欲しいのです。

餅搗唄

鬼が餅搗きや閻魔がこねる
傍で地藏さんが嘗めたがる

姿勢の正しい外國婦人

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

着物の柄の選び方

菊子

皆樣が着物の柄の選び方を見ますと、兎角目に見た美しさや流行の柄合にばかり目をお留めになつてそれが果して御自分に似合ふかどうかといふ事をお忘れのやうに見えます。所がそれこそ大事な事で、どんなに氣に入つたよい柄でも、自分に似合はなくては何にもなりません。たとへ少々品は落ちても、しつくりその人柄に合つた着物の着て居るのは傍から見ても氣持ちのよいものです。

女は一體にねたみ心が強く、道で行會つた人の着物が夢に見るほどよく思へたりして早速自分も買整へ、さて仕立上げて着て見ると自分には似もつかぬ惡い柄なので、落膽するやうな事がよくあります。かと思ふとあまり氣の進まぬ柄でも之があれかと思ふほど着榮えのするものもあります。然し之は決して偶然ではなく、何か其色なり縞なり其人と調和するものがあるのですから、常々自分にはあんなのが似合ひこんなのが似合はなかつたといふことをよく記憶して置く必要があります。色の黑い人は淺黃や藍お納戸めいたものと薄い色を避け、なるべく黑味の勝つたものを選べば、間違はないのです。背の高い人や肩のない人にはあまりはつきりした縞よりも何か込んだのがよく、其反對の人に瀧縞とか大名縞のやうなものがよい樣ですが、大名縞はあまり粗いと橫肥りの人には却つていけません。大體こんな事を心得た上で、頭で選る工風をするのです。あれこれと目移りがして迷ふのは只時間をとるばかりで却つて、いけない品などを取つて仕舞ふものです。之は目で選つてゐる證據なのです。反物を手にとつて見た時に其部分の柄に許り氣をとめずに頭の中でそれを仕立あげ、想像で着て見て似合ふかどうかを吟味します。若しそれが似合さうだつたり、其傍にそれよりもどんな柄としてよい品があつても思ひ切つて捨てなければなりません。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

鐘ヶ淵紡績會社を訪ふ

恩田和

まん〳〵と青磁色の水の流れる隅田川の岸にのぞんで、お城のやうに聳え立つた煉瓦の建物煉瓦の塀これこそ鐘ヶ淵の紡績會社の工場で、其處に居る二千餘人の工女さんの働き振りや生活振を拜見するために、その門をくゞつたのは十月十三日の午後、灰色に垂れこめた空からしと〳〵と小雨降り、櫻の病葉がはら〳〵と絶えず散り落ちて居る時でした。

事務室に行つて、世話係の河野初子さんに御面會を願ひ出ると事務の人が早速室内電話を河野さんのお部屋にかける、この時私の後のガラス戸が靜かに開きました。見ると十二三歳の可愛い顏をした工女さんです。

『葉書を一枚頂きたうございます』といふ。

事務の人は葉書を出しながら

『何處へ出すの？』

『田舍に‥‥父が心配して居るでせうと思ひましてで、こんどかういふ處に來て、たのしく一生懸命働いて居るからつて安心させてやりたいので‥‥』といかにもはつきりした聲でちやんと語つて、事務係の人に代筆をたのみました。

『では此方へお入り』かう呼び入れて、この工女さんが上京以來の事を委しく聞きとり、すら〳〵とペンを走らせました。

その傍のテーブルの前には田舍風の爺さんが、も一人の事務員としきりに語つてゐる。

『私も之で先づやつと安心しました。來て見ない内

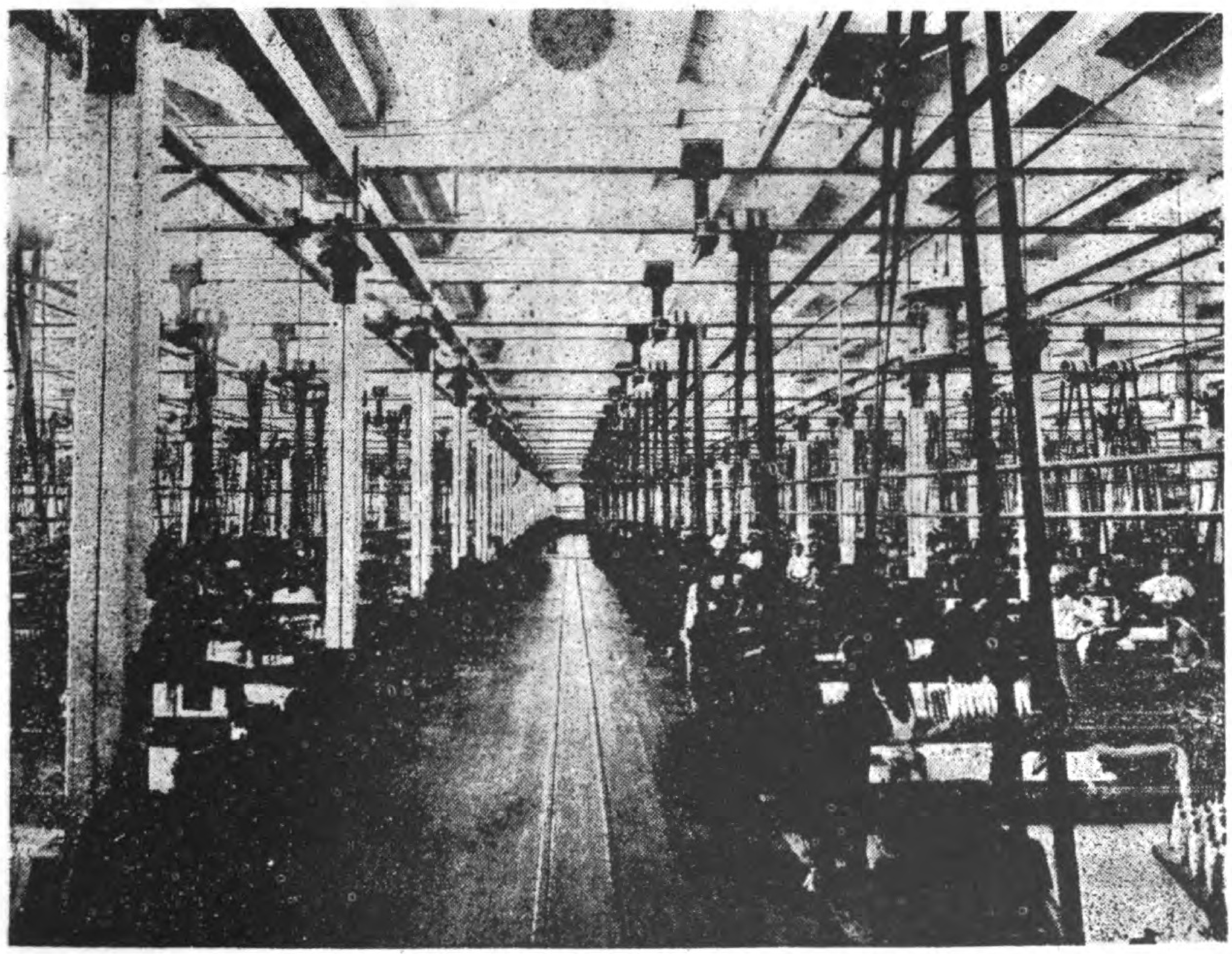
Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

は、どんな處に働いて居るかと、いろ〳〵心配しましたよ、おまけに方々建物を見せてもらひまして、ヘエ、あの職工の娯樂場とやらは、淺草の活動寫眞館そつくりですネ、實に立派なもんでげす、あれ見せてもらつただけでも十錢位の價値はありますよ』と盛んに語りつゞけてゐる。

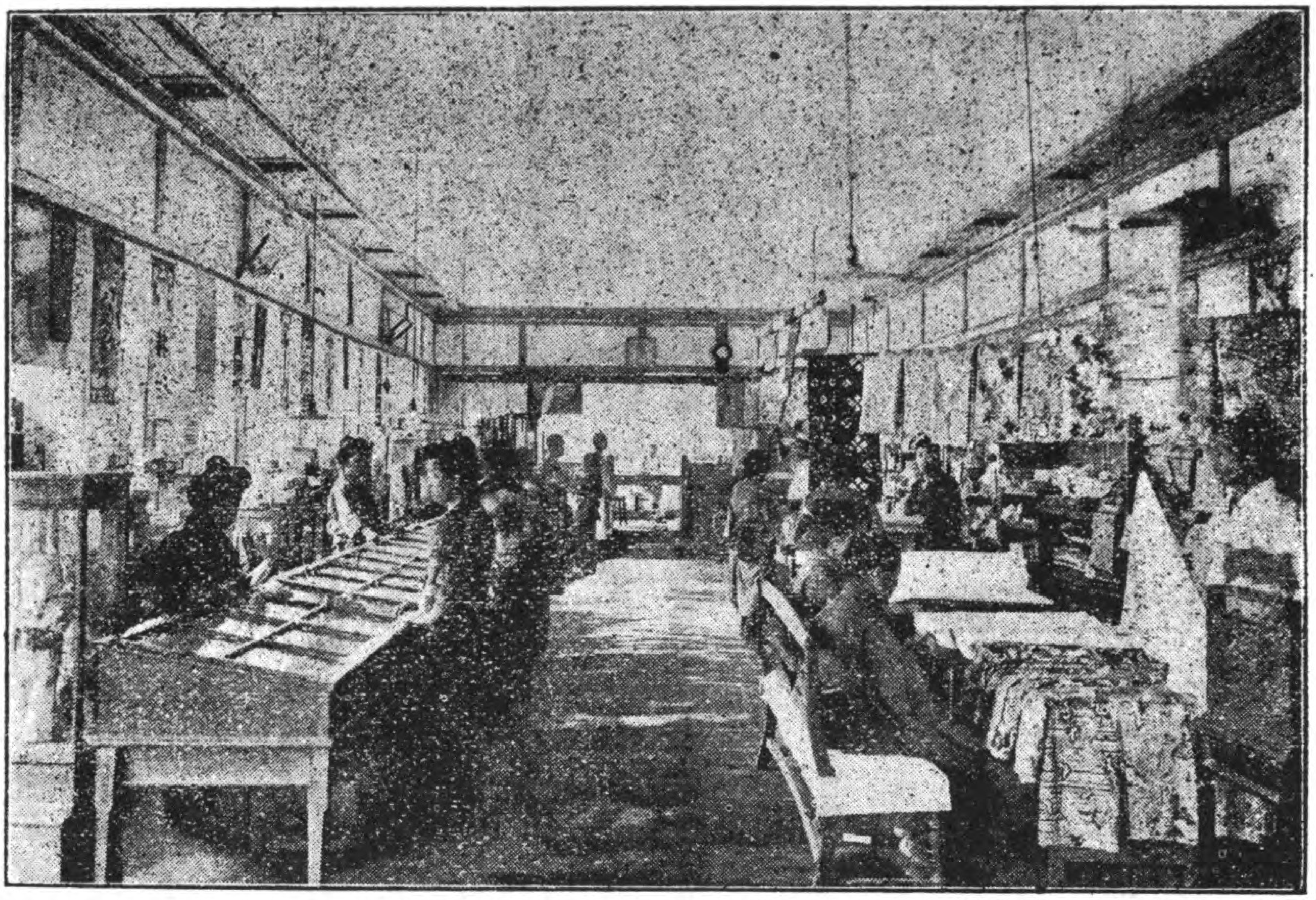
處へ黒い事務服をつけた河野さんがお出でになつた、優しい〳〵愛嬌のよい人でいつ見てもにこやかにして居る人です。

河野さんと二人連れ立つて人事主任の中島さんにお目にかゝりに行く、それからやがて中島さんと三人で工場から寄宿舍を見にまゐりました。

丁度の三時の休憩時間だつたので、赤兒を背負つた子供達が廊下に立つて待つて居る、するとお母樣達は工場からぞろ〳〵出て來て赤兒を抱きあげ幾度かその愛らしい頬に頬ずりしながらお乳をふくませる、赤兒はぐう〳〵と息つく暇もなげに、その張り切つた乳を飲む、お母樣はうつとりその顏に見と



日光や我れは働く乙女なり



勞銀で物買ふ人や眉淸し

れて居ります。斯樣した滿足げな顏、嬉しげな樣子を工場で見やうとは夢にも思はなかつた事でした。銀のやうに照り輝いて居る機罐室から、機械室其他の仕事場を順々に見て行く。紡績工場といへば、埃や綿で室内が朦々して居る、工女達は其中に機械のやうに立ち働いて居るのである、と平常、人からこんな事を聞かされてゐた私は、鐘紡に來て少しく意外に感じたのです。で私は其事を中島さんにお話しました。すると中島さんは大層笑つて、

『あなた、それで仕事が出來ますか、成程かうして仕事をして居れば埃も出來ます、綿も飛びます。然し綿毛一本でもこの機械に附着て御覧なさい、忽ち機械の運轉がにぶり、絲が切れ出します。工女の着物に附着て居ても、それが機械の方に飛びます。のみならず、綿毛を吸ふと身體の爲に非常に害になります、故に工場内の淸潔といふ事には、もう出來るだけの注意を拂つて居るのです』といふ、成程と頷きました。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

工女さん達は縞の筒袖のこさつぱりしたのを着て白い前かけを胸からかけて居りました。目もとまらぬ程の速さで動く機械の前に凝と立つて、側目もふらず仕事をして居るのでした。

工場を出て今度は寄宿舎に行く、寄宿舎は六棟あつて、一棟に一人づゝ世話係がついて居る、廣いすべりさうな廊下を通つて各室内を拜見して歩きました。四十疊の部屋の中央に机や火鉢座蒲團がお行儀よく並んでゐる、柱にかけられた鏡、その前には書棚にぎつしり書物がつまれてある。小さな置物や花瓶に挿された花が、鏡に姿をうつして居ります。

『此室はどなたのお部屋ですか』といふと御一所に行つた河野さんは

『世話係の部屋でございます。新しく來た工女が寄宿舍になれる迄、此室に世話係と一所に寢起きします。世話係の方では、その間にすつかり當人の性質を見ぬき、惡い處などを矯め、そして、適當な他の部屋に仲間入りをさせます』といふ。

『綺麗にかたついて居ります事』といふと河野さんは赤い顏をして俯かれました。其室は河野さんのお部屋だつたのでした。

工女さん達は四十疊に十八人の割、そしてその中に部屋長が一人居て人々の世話をして居られます。部屋の兩側の壁に添つてずらりと戸棚が並んでゐます。工女さんは各自一人一個づゝこの戸棚を持つて居る。

『此の戸棚に工女の財産全部が藏まつて居るのですですから戸棚の中をいぢくる事が樂しみで、いろいろ並べたり飾つたりしてゐます。他人に見られる事を大層嫌ひますが、特別にお目にかけませう』と中島主任は扉を開いて見せてくれました。

中には棚が一つ出來て居る、上の棚には行李や風呂敷包のやうな大きなものが積みかさねられ、下には石鹸箱や小間物其他の小道具が美しく並んで居るその並べ方は人樣々です。

『中には飾り棚のやうに心得て、きれいに道具を並

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

べた前に小さな花瓶に花などを挿して居る工女もあります、戸棚の中に花を活けて置く處は此工場位でございませうねヽ、、、」と河野さんは笑はれました。

女らしいそのまめやかさと、美を好むその心根、忙しいなかに、狹い戸棚のなかに、かうして、さゝやかな樂しみをつくつてゐる人々のしほらしさに感ぜずには居られませんでした。

寢臺を用ひて居る部屋もあれば、日本風に疊に寢て居る部屋もありました。中島さんは

『最初はすつかり西洋風にしたのですが、女工達がどうも嫌ひましてね、で、又、逆戻りして日本風に疊をしきました、寢臺では氣がのび〳〵しないのでせう、又西洋風の部屋だと坐つて話をする事も出來ない、そんなせいでせうと思ひます』と説明される。

寢臺の夜具は皆白い。ある部屋では枕を並べてぐつすりと、死んだやうに寢入つて居りました。仕事に疲れた體を安らひる、どんなに嬉しい事でせう、夢も見ずに眠りをむさぼつて居るらしい。

染めてある夜具を見ると、どれも之も色がさめて居ります。これ程立派な設備をしてゐる工場でこんな汚げな蒲團にねかすとはをかしいと思つたら、

『知らぬ方は左樣お思ひになるも無理もありませんこんな大勢の人を集めて居るのですから清潔といふ事には出來るだけ注意を拂つてゐるのです。蒲團も度々洗濯したり、消毒したりします。その爲に、綺麗な色をしてゐたものが忽ちの内にこんな色になるのです。あまり布を洗濯し過ぎるのでこんなに色が變ります。そのかはり何處を引つくり返しても垢一つついて居らぬつもりです』と却つて御自慢を聞かされました。

廊下には所々に塵を入れる箱が備へてあります。

又、投書箱がある、その上には

『左の事を書いてお入れなさい、』

一、なんでものぞみの事、一、なんでも心づいた事、一、寄宿の内の手紙の遣りとり、一、たのしみ會に就

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

て」と書いてあります。

廊下の所々に大きな姿見の立てゝあるのも女にとつては嬉しいものだと感じました。

洗面所は最新式と舊式の二通りあるを見ました。舊式のはネヂをねぢつて水を出すのであるが新式のは丁度膝頭のあたる邊に丸い鐵の板が出てゐる、それを膝頭でぐつと押すと、前の管から水がひとりでに出るのです。前の人が汚い手でねぢつたねぢに手を觸れる不愉快さを知らず、之ならば誠に申分なしです。

消毒に注意して居る點で感心しましたのは割烹所です、大きな笊に茶碗を澤山入れ、それを消毒液のぐら〱煮沸つて居る釜の中に入れて煮る、それを引あげて、只の湯の煮え返つて釜の中に入れて又煮る。そして今度は清水の中に入れてごし〱洗ひ更に清水でそゝく、何處の工場でもこの位にして欲しいと思ひました。

かねて御自慢ものと聞いて居た工女さん達の學校も拜見しました。學校は二階建で一棟別になつてゐる、三十人位入る敎室が三つほどある、床にはリノリアムが滑らかに敷きつめられ、並べられた机のひかる程美しい、東京の女學校にも此位綺麗なのは一寸ありません。生徒さんは三百人位、先生は世話係がなつて居るさうです。

又、別に大きな部屋があつて、此室で作法、裁縫挿花、茶の湯を敎へる、先生は女子職業學校を出られた專門家です。刺繍、つまみ細工、袋物などの成績品がガラス戸棚の中にかざられてありましたが仲々お上手な手際です。毎月四回づゝ割烹を敎へられるときゝました。學校も裁縫其他の手藝も、材料はすべて會社の方から出して居られる、そんなに工女のためにしてやるのは結構だが、あまり面倒を見過ぎると横着になつていけない、せめて月謝だけでも工女からとつたらよいではないかとすゝめる人もあるさうですが、會社では、出來るだけ工女の便宜を計つてやりたいといつて矢張りすべて會社持ちでして

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

居ります。ですから勉強したい、習ひたいといふ慾のある人は、どし〳〵進んで行くさうです。これだけの設備があるのですから、之を無駄にせず、出來るだけ勉強していたゞきたいものです。

娯樂としては先づ娯樂場が備はつて居ります。此處は大方の芝居は間に合ふ位いろ〳〵の道具がありました。芝居や活動寫眞をこゝで月四回づゝ見せるさうです。その他ピンポン、闘球盤などあるが、大分飽きられて、今はテニスが大もてとの事です。高く澄み渡つた空を仰ぎながら、ボールの音心地よくテニスをするのは、却つて室内でピンポンするよりも愉快であり且つ衛生上結構な事でせう。

庭には花壇があつて、赤いカンナや白い菊が咲きみだれて居りました。細い銀のやうな雨が降りかゝるのを見ながら病院の方へ行く時中島主任は、

『近々の内に庭に小鳥を飼はうかと思つてゐます』

と申されました。

病院の清潔さ、どこもこゝも照り輝いて居ります斯樣いふ立派な病院に養生してゐる工女さん達は何といふ幸福者でせうと羨ましく思ひました。然し、寢臺の上に起きあがつてガラス窓越しにぼんやりと降りてそゝぐ雨をながめてゐるその青い顔を見た時そのいぢらしさお氣の毒さに涙がこぼれるやうな思ひをしました。雜誌を見てゐる人もありました。然しどの人の顔を見てもいひやうのない淋しい〳〵色が浮んで居りました。

『今入院して居る者は三十人位です。然しそれも皆寢てゐるといふのではありません。此の工場は、四日つゞけて熱が出ると皆病院に入れて養生させる事にしてゐますので、一寸見ると之が病人かと思ふやうなのが居ります』と中島主任はいふ。

どうか早く全快して、又、たのしく働かれるやうにと祈りました。

工女の虐待、かねて噂に聞いてゐたやうな私の想像はすつかり消え失せました。むしろ、私は、これ程の設備をして、勉強せよ、勉強せよと迫られてゐるのに、なぜもつと之を利用して勉強されないのでせう、なぜもつと慾を出されないのでせうと思つたのであります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

不思議な乙女

油谷治郎七

「世界の國々を巡りて見聞を肆にし、各種の階級に出入して著名なる人々に接し、最も驚くべきものと感じたのは何でありましたか。」

斯やうな問を受くることは度々でありますが、私は躊躇なくヘレン、ケラー孃と云ふ女子だと答へます。孃は生れてから間もなく或る不幸に遇ふて、盲で聾で啞になつたのです、五感のうちその最も大切なる機關は不具となつて、鼻で嗅ぎ指で觸ることのほか、身外のことを知る能はありませぬ、實に不自由な氣の毒な女子であります。生家は極貧でもありませぬが、餘り豊かな方でもありませなんだ、幼時に事情ありて父母の手を離れて他人の手で育つたのです。此下幸で不運のケラー孃は妙じくも人並勝れたる材能を發揮し、二十歳のころ米國第一流のラツドクリフ女子大學を優等の成績で卒業して文學士となりました、卒業前卽ち十八歳のころ「我おいたち物語」を十數回にわたりて米國最上の婦人雜誌に書きまして天下の驚きの目を一身にあつめました。マークトウエーンと云ふ有名な批評家は私に話されたことがあります、「過る百年の間において最も驚くべき奇蹟は二つある、一はナポレオンのオカで、一はヘレン、ケラー孃である」と。

私はアメリカのケムブリツヂに居たころ時々ケラー孃を訪て談じましたのは程なく大學を卒業する前の年でありました。ケラー孃を我子のやうにして世

話をするサリヴアン孃といふ、其頃三十二三になる婦人と兩人で棲んでゐました。私は話をするとサリヴアンは聞いて居て直ちにケラー孃の掌に其の五本の指頭で何か合圖を爲します。暗號のやうに全く私の話は通ずるのです。ケラー孃が無聲で何か話をするとサリヴアンは右指をケラー孃の脣や咽喉にあてますが、悉く解るものと見えて私に其を通辯してくれるのです、サリヴアンは私に話してゐるとケラー孃は其右指をサリヴアンの脣や咽喉の邊りに當て、指頭で聞くのです、又はサリヴアンは私に話すと同時に其五本の指頭でケラー孃の掌の上に符號で傳へています。滑稽などを話すと腹を抱て笑ふ其敏捷に兩者の思ふところを傳へること、恰も活ける電信機のやうですサリヴアンは坐を離れると、ケラー孃に對する私は全く啞聾です、世には眼と眼で話すと云ふこともあるがケラー孃は盲ですから眼で話すこともできませぬ。ケラー孃が大學の敎室に入るときサリヴアンも共に

不思議な乙女ケラー孃

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

赴きまして、其講義を聞き一々其をケラー孃の掌上に指頭で傳へ、ケラー孃は歸りてのち其記憶を辿りてタイプライターで凸字を以て書き留めておくのです、卽ち講義の記錄は出來るわけです、ケラー孃の書棚は此凸字講義錄で埋まつてありました。

驚くべきは眼と耳と口との三つの代用をするケラー孃の指頭です、私は廣重や豐國の錦繪を贈りましたが、孃は指頭で畫面を撫ぜて「此山は有名な富士山ですか此海の色と彼の山の色との配合は奇麗ですねえ、此櫻觀の婦人の衣裳は實に奇麗なこと」など話すから、色は指頭で判ぜられますかと問ひましたら、能く分りますと答へられました。

ケラー孃と話すとき深く私の感じたのは、第一に博く學んで明かな智慧を有つてゐられることです、聲を出して話はせぬが、英語のほかに昔のグリーキ語やラチン語も知つてゐるフランス語もドイツ語も自由にわかるのです、外國語を覺えて外國の書物を讀むと一の新しき世界に旅行するやうに思はれます」と話されました、實に耳も眼も口も自由なるものゝ全く耻ぢ入るやうな智識を有しています、而して其は生れながらのものでなく悉く學んで得たものです、努めて止まざる力は驚くべきものでありませんか。

第二にはケラー孃が自分の不具や不幸を苦にせずして打ち勝て進む勇敢な精神の盛んなることです。盲や啞は何となく陰氣で沈みがちになり易いものですが、ケラー孃に面すると嬉々として悅と力とが全身に滿ちてゐるやうに見えます。私に向つて『此世界には悲と苦とが充ちてゐます、然れど又之に打勝つべき力があります』と話されて毫も己の不自由を感ぜぬ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

やうでありました。十九歳のときに書かれた「樂天主義」と云ふ本がありますが、飽くまでも望と力とに充ちた精神が溢れてゐます、此頃書かれた「闇より光へ」といふ本も盲女の手にて書かれたものと思へぬほど光明に充ちた心が現はれてゐます。眼が見え耳が聞えながら心が闇では恥しいではありませぬか。

第三は同情の博くして深いことは又驚くばかりです。「私は出來るならば貧しい乙女等が苦勞してゐる中に飛び入つて友となり何かと力となりてあげたいと思ひます、又出來るならば私の手を以て病に苦しむ人々を撫ぜて助けたく思ひます。盲や唖聾の人々の安樂で自由であるやうに盡してあげたいと思ふのは言ふまでもありませぬ、私の受けた最高の敎育の惠を講演や文章の力で廣く敎育を受くることの出來ぬ人々に分ちたいと苦心してゐます」と私に話されました其後の孃の性格と事業とは實に同情の化身のやうです、一身を獻じて人の爲に盡してゐられます。

先生と生徒

「世の中で一番不幸なのは何でせう」

「不具です。先生。」

「ヘレンケラー孃をごらんなさい、孃は盲目で聾で唖であるけれどもちつとも不幸でないぢやありませんか。」

「それでは先生、病人です。」

「病人も不幸です、けれども未だ不幸なものがあります」

「では………わかりました先生、お老人です。」

「お老人も不幸です、けれども未だ不幸のものがあります。」

「あゝわかつた、死ぬ事です。」

「未だあります

「ぢや、先生、全體何が不幸なんでせう」

「心です、不具や、病氣や、老や、死やを悲む心です。」

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

手軽なお料理

記者

魚の大根巻

きす又ははぜの鱗を除り三枚に下し、串に刺し一寸焼き別に大根を三寸三分位の長さに切り皮をむき薄くしのむきにむいて二寸五分乃至三寸に切りザット茹で笊へ上げて冷し、此冷た大根へ前の魚をのせ親指位の太さに巻き別に干瓢を水で洗ひ是にて前の大根の眞中を結はひ、鍋へ敷笊を敷きその内へ大根を入れて鰹節出しに味淋、酒、醤油と鹽少量、此の汁が大根の上を被ふ位にしてゆつくり煮る、五つ位鉢に盛りて侑む。

けんちん

大根の皮を剝き一分位の銀杏形に切り、人參、午蒡を斜に一分位の厚さに切り、芋の皮を剝き二分位の厚さに切り、鍋へ胡麻油を入れ少し煮立ちし處へ前の品を入れ煎ためる。然る時水をその品々より上になる位入れる。是でゆつくり煮て置き、夫れへ、豆腐を手で潰し込んで入れる、醤油を入れ汁加減をなし、品々に夫れがすつかり含むまで煮る。味をよくせんとするなら、水を入れる時共に出しを少し割つて入れゝばよろし。

はうれん草の浸し物

はうれん草を茹でゝ、頭の處を五分位除り、あとを五分位に切り水を絞り醤油をかけて置く。別に黄菊に酢を少し落した中でジツと茹で絞つて、うてなを除りバラ〳〵にして置く、前のはうれん草

を輕く絞つて黄菊を交ぜ合せ、醤油一杯半に濃い鰹節出し半杯を交ぜたものをかけ、すつかり掻き廻したら鉢へ盛りて、けしの實をザッと煎つてパラ〳〵とかけ其上に柚子の汁を絞つて少しかけ侑む。

空也豆腐

豆腐を奴に切り茶碗へ二つ入れ玉子を一つ壊して別に煮出し味淋醤油少量を加へしものを玉子の量に對する半分の量丈を加へて豆腐の上にかけ、蒸籠に入れて蒸す、玉子がかたまつたらその上に薄葛をかけ上に蘘荷の絞つたのをかけて侑む。

柚子味噌

柚子をよく洗ひて後上部を一分位切り、中の實をくりぬきて種子を除り、その實を狙上で細かく叩く。別に黒胡麻を煎つてすり鉢ですつて是れに白味噌百目を入れてすり、更に砂糖食匙三杯と柚子三つの分量の實を入れ、よくすれたら裏漉しにかけ、鍋へ味淋五勺を入れし中へ投じて火の上でねり、少し硬くなりし時前の柚子の殻の内につめて、切り放した上部をふたとなし食する時、その儘網の上に載せ溫めて食す。

油揚の卸し合

油揚を燒いて細い繊に切り大根卸しは水で洗ひ布巾に包みてしぼりこの二種を皿へ盛り合せ加減酢をかけます。

鰯のぬた

頭とはらわたと骨とを除りて洗つて鹽をふり、少し經つたら水で洗つて酢をかける、別に葱を茹でて板の上へ十本許りのせてさいばしで葱をこき葱のぬめ〳〵を除り五分位に切りて、酢をかけ、うどを短册に切り鹽でもんで葱の内にまぜ、葱の酢を絞り、鰯も酢から出して皮をむき、五分位にきつて葱とまぜ、別に味噌をすり、砂糖と酢を加へて裏漉しにかけ、此の味噌の内へ前の皆をまぜる。

大根、剝き身、油揚の汁

大根の皮を剝き一分位の厚さに銀杏又は櫛形に切り、油揚を二分位の厚さに切り、別に鍋へ水を入れて剝身を入れ、ザツト茹で〻剝身丈笊に取り、その汁に前の品々を入れてゴト〳〵煮る。大根が柔かになつたなら醤油を入れ暫く煮て、大根に味のつきし頃、前に取り除き置きし剝身を入れ煮る、程よき頃を見計らひ椀に盛りて侑む。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

英國工女達から姉と敬はる、「メンテス女史を訪ふ」

さくら子

メンテスさんは遠い英國から先頃お出でになつた方です。英國にお出での時は工場に出て工女さん達の爲にいろいろお働きになり、工女の姉と敬はれて居りました、日本の工女さん達の事をいろいろ知りたいと申して居られます。私が小石川雜司ケ谷にメンテスさんをお訪ねしたのは十月初めの眞暗な靜かな晩でした。

私は應接間に通されて暫らく持つて居りますと、廊下をさら〳〵と裾を引いて來る音がします。見るとメンテスさんです。背の高い、黑い洋服、胸からこぼれ出てゐる白いレースが藤のやうにゆらゆらと美しく搖れてゐる、金のやうな髮の毛のふんわりと蔽いかゝつた額の邊の氣高さ、その大きな眼には終始なつかしげな笑が湛へられてゐる、メンテスさ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

（工女さん達の遠足）

んの手には澤山の繪葉書がもたれてありました。『ようお出で下さいました私はあなたにお目にかゝつて第一番に申上げなければならぬ事がございます。それは英國の工女が大層日本の工女さん方を懐しがつて居る事です。今日もかうしてこの事を葉書にかいてよこしたのです。日本の工女さん達の話をきかして下さいつて、しかし私はまだ日本の工女さん達にお目にかゝりません』

かういひながら、手にしてゐる繪葉書を一枚一枚並べて見せられました。その葉書には英國の工女達が仕事をしてゐる處、遊んでゐる處、樣々の寫眞が出て居ります。メンテスさんはやがて英國の工女生活を話し出されました。

『英國の工女は朝六時から夜六時迄働き、暇な時は倶樂部に來て居ります。そこで遊ぶ人もあれば勉强する人もある。又、裁縫する人もあれば仕事をして金をため銀行にあづける人もあります。土曜日になるとそこで茶話會を開き、少しづつお金を出し合つてお菓子を買ひ、いろ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

いろ面白い話をして暮します。大きな工場になると、世話係といふものを置いて工女の監督をさせ、工女達の相談となりいろ〳〵の希望を叶ひてやるやうにしてゐます。工女達は日頃から小遣錢をためて置きます。そのたまつたお金で、年に一二回遠足や市見物に出かけます。その時の喜びといつたらありません。大勢が馬車にのつて勇み勇んで出發します』

この時メンテスさんは一枚の寫眞を見せられました、それは十名程の婦人が並んで居る。その中の一人を指して、

『之はこの工場主のお孃さんです、大層工女を可愛がつて、毎日倶樂部に來ては親切に世話をして居りますので工女達は姉のやうに親んでゐます。之は工女達と遊びに出された樣の寫眞です』といふ。

『日本でも左樣でせうが、英國には隨分感心な工女が居ります。十三位なのに、年とつたお母樣や幼い妹達をやしなつてゐるのがあります。自分はなり振りかまはず、只お母樣や妹達を喜ばせるのをたのしみにして。又、大勢の工女ですから、中には氣立のよくない人もないではありません。けれども監督の人が親切に一心にいろ〳〵敎へきかすので、いつしかやさしい立派な人になつて仕舞ふのです。病氣ですか、どうも肺病が多くて困ります。工場でも大層心配して、出來るだけ衞生に注意して居ります。お醫者をたのんで、工女達にいろ〳〵衞生上の話をしてもらふ事もしてゐます』

メンテスさんはあれからそれへと熱心に語り續けられる、あまり遲く迄お邪魔するも失禮とお暇をつげると、さも殘念さうな顏をして居りました。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

活動寫眞はよい敎育になる

もみぢ子

活動寫眞の惡い點

活動寫眞は面白い、又、芝居など見にゆくよりもお金がかゝらず萬事手輕に出來るので誠に具合がよいといふ處から、今は立派な一の娛樂の機關となつて居ります。

好きな人は、淺草の活動寫眞のお得意客になつて、仕事の暇さへあればお友達と、『ネ、あの三十萬弗の行衛はほんとにどうなつて居るのでせう』『あの小夜子が可愛想だ事、光子はにくらしいワ』など、寫眞中の人物や筋の事などを夢中になつて饒舌て居る人があります。全く面白いものです。ですから仕事の骨休めに時々行つて見るのも宜しい、然し行くに就ては注意しなければならぬ事が澤山あるのです。

警視廳の巡査や探偵は、活動寫眞館の中は、若い男女の罪惡の巣だと申して、いろ〳〵の商賣の人に化け、自分も見物人の一人となつて、何食はぬ顔して入り込み、それとなく、何か惡い事をする人は無いか知らんと怠らずに注意して居ります。隨分、いかゞはしい嫌な男が居ります。最初は一寸足を踏んで見たり、肱を突いて見たりするそれでも此方が默つて居ると手を握らうとします。そしてさも馴れ〳〵しげに言葉をかけ、だん〳〵此方を誘ひ出さうとしますこんな時日本の女は只もじ〳〵してゐます。之を退けるには、きつく、わざとらしく、あたりの人が氣づく位に手をふり拂ふが宜しいそれでも猶うるさい事をしたら、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「あなた何をなさいます」ときつぱりといふに限ります、左様すると大方の男は默つて引込むかこそこそ逃げて行くかします。少しでも此方で困つた顔や弱味を見せてはいけません。惡い點を申しますとそればかりではありません。目によくないのです。立派な新しいフイルムならばそんな事もありませんが古いフイルムになると澤山傷がついて居りますのでキラ〳〵して見難くゝ、その爲にどれ程目をつからせるか知れません。炭酸瓦斯の多いのも實際です。何しろあの箱のやうな暗い中に、大勢の人がぎつしり詰め込むのですもの隨分空氣がきたなくなりそのために頭痛がしたり胸が惡くなつたりします。この邊の處も考へてから見にゆかなければいけません。又活動寫眞を見せる事は若い人には害であると盛んにやかましく申して居る人があります。小さな子供などには、全く見せたくないと思ふのが可也あります。然し大人には、此處はいけない、彼處は惡いと自分で判斷するだけの力があるのですから、惡い事はすてゝ、よい處だけとるやうにすれば、活動寫眞は本をよむよりも益になる事があるのでございます。

　それならば、どういふ處を注意して見たらよいでせうか。

容易に見られぬ實寫もの

皆様！活動寫眞を見にゆきますと、何處の館でも『スエスの實景』だの『アイルランドの實景』だのといつて、山や海の景色ばかりうつしたのを必ず一つや二つ御覽になりませう。何百里何千里、海山越えた遠い〳〵外國の景色なか〳〵容易に見られるものではありません、なかには洋行などして見て來る人もありますが、多くはそんな所を見ずに一生を終つてしまふのです。それを見る事が出來るとは何と幸福な事ではありますまいかこんな寫眞が出た時は只ぼんやりして居ないで、その美しい所や、日本の景色とどんなに異なつてゐるかを見なければなりません。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

人情と風俗のちがひ

又、活動寫眞で面白いのは人情や風俗のちがつて居る事です。その國々によつて隨分ちがつためづらしい家や着物を見ます。又、人情なども日本とは可也ちがつてるるので隨分妙なものだと思ふ事があります。之などもたしかに氣をつけて見ねばなりません。

ほゝえみ

顏と體の表情

西洋人は一體に心のあらはし方が上手です。泣いたり笑つたり怒つたりが日本人よりも上手に出來る、泣き顏を人に見せる事は日本人は恥しい事として居るのですから、そんな點は西洋人を眞似なくてもよい、又、怒つた顏を人に見せる事もよくない、只にこやかな晴れやかな、そして眞から嬉しさうに笑ふあの西洋人の上手さは眞似たいと思ひます。西洋の若い婦人や子供が笑ふ時の美しさ、何といふ氣もちのよい顏をするでせう日本の女もあんなに心から嬉しさうに無邪氣に笑へるやうになりたいものです。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

又、日本物の活動寫眞にあらはれた女を御覧なさい、歩くにも坐るにもすべて體を動かす時何とちよこ〳〵してぎごつちない事でせう。其點になると西洋婦人は實にゆつたりとして然も快活なものです。今迄の日本の女は家の中にばかり引込んで居りましたから體を動かしませんでした。で、美人といへば顔の事ばかり申して居りました。然し之から外にも盛んに出たりするやうになつては、顔と同じく體つきも美しくなければ美人とは申されないのです。體も只、脊が高くてすらりとしてゐる位では駄目です。體の動かし方が上手でなければいけません、少し位體つきの悪い人でも動かし方が上手であると可也美人に見えます。日本物の活動寫眞には、さうよい役者が出て居りませんが。西洋のになると一流の役者が出てして居る事がありますから、その上手さをよく見て置くとよろしうございます。

理學の應用

近頃は冒険物が大層多い、それも單に海の中にとび込んだり屋根の上を飛び廻つたりするだけでなく、飛行機をとばしたり、爆彈をなげつけて家を破壊たり、其他いろ〳〵理學の力を應用して居ります。工場などで機械の運轉してゐる處を見て、理學の力のどれ程すばらしいものであるかを御存じの方も澤山おありでせうが、なほそれ以外に様々な方面で偉い力をあらはして居る事を知つたならば、どれほどよい學問になるか知れません。さういふ事を知るには活動寫眞は實によい機關であります。

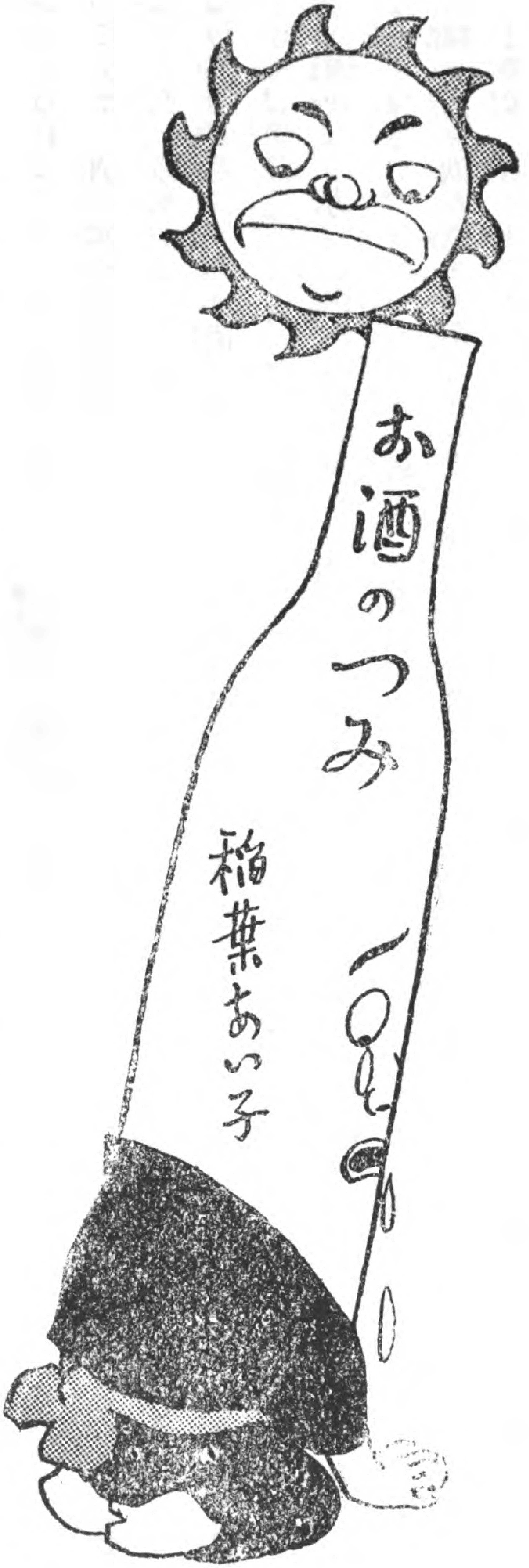
○　凸坊

秋の眞晝の野の中で
少女子一人泣いてゐる。
お前どうして泣くぞよと
僕がきいたら少女子は
さらに聲をはりあげて
くづれるやうに泣き出した。
秋の日あしが傾いて
悲しき風がふいて來て
こんどは僕が泣きたくなつた。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

お酒のつみ

稲葉あい子



『もう〳〵宅の娘は酒呑の所へはお嫁にやらない。』と世間の阿母さんの口からよく聞きます。御祝言の晩のお酒は後から思ひ出すと嬉しい懐かしいものでありますが、同じいお酒でも貧乏神の手助けをするお酒になつたり、墮落の谷へ通ふ路になつたり、罪のない内儀さんを擲りつける亂暴の手になつたりして、世間に鬼のやうに忌み嫌はれるとはお酒と云ふ奴、よつぽど因果の生れつきと見えます

『なあにそんな事はありやしない、酒無くて何の己が櫻かなだ、酒は百藥の長、憂ひを拂ふ玉箒だ。まあいゝつて事さ、もう一升買つて來い。何、買つて來ない。買つて來ないと什麼するか見ろ、旦那さんの命令に背くなんて不都合の奴だ、とつと出て失せろ。何、世帶の爲めだつて、可愛いゝ坊の爲めだつて、まあそんな泣き顔をしなくもいゝよ。成る程、はい〳〵、お言葉の通り、ぢや謹んでもう止しますが、せめて奥樣のお情でもう五合だけ、へえ〳〵、ぢや三合、それもなりませんならちよんびりとたつ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

た一合。』なんて意地の汚い事を云つてゐるのはどこなたです。そんな人はよく此お酒の罪と云ふ文句を讀んで謹んで御禁酒をなさい。もしも又そんな酒呑みの旦那をお持ちの方は、よく〱此文章をお讀みになつて、旦那樣に御意見を申し上ぐるなり何なり勝手になさいまし。

日本橋のある呑み助の壽司屋さんが拳で鼻の頭を一つこすつて、

『なあにコレラなんで恐い事はありやしねえ、酒を飲んでゐれば、コレラの蟲けらめたとへ腹の中へ入つてもよ、酒の爲めにおつ死んで仕舞ひまさあ。』と云つた迄は景氣がよかつたが、大酒を飲んで胃を壞はして、其處へコレラ菌が入つたものだから堪まりません、忽ち自分がおつ死んで仕舞つたなどは、よろしく酒飲みの方がお忘れのないやうに覺えてゐねばなりますまい。ロシヤは日本と戰爭して負けたのは兵隊が酒を飲み過ぎたからだとて、此世界の大戰爭には兵隊に酒を飲ませないもんだから、ロシヤの兵隊はづツと強くなつた相です。イギリスと云ふ國でもお酒を止させる爲めに妙な法律が出來ました。それは他人にお酒を奢ると日本のお金に直して、十圓罰金をとられるのです。

『さあ何も無いが今晩は僕が一升奢る。ゆつくりと飲んで呉れ給へ』など云ふ事がお巡査さんの耳へ入らうものなら大變です。

『他人に酒を奢るとは不都合の奴だ、きり〱十圓出して仕舞へ』などゝ怒鳴られます。奢つたり取られたりとは此事です。

アメリカのワシントン州と云ふ所では女の人達が相談して、此世の中に男ばかり威張らして置くと云ふ法はない。男も女もみんな同じやうに幸福な世渡りをしなければならない、就いてはお酒と云ふものはそれを飲むお亭主だけで樂しんで他の家族は其爲に苦しまねばならん、お酒を賣買しない法律をこしらへて貰はなければならないと云ふので、大運動しましてとう〱ワシントン州ではお酒の賣買は出來

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ない事になりました。

所が一番困つたのが例の呑み助です。はて何とかして一杯飲める方法はないかと考へてゐると、そこを見込んで又密かに酒を作つて賣らうと云ふ不都合の人間も出來ました。シャトル市第九街ウエストレーキの街角ビリングスレーと云ふ變てこな名前の藥屋も其不都合の人間の一人です。

『少し風邪をひきましたからお藥を下さい。』

『へえ水藥ですか。いか程差上げませう。』

『左樣ですね、たんとは要りませんが五升程戴きませうか。』

五升の水藥、どんな病氣だか知らないが大變なお藥を飲むもんだなと思つてはいけません、藥といふのは酒の事です、もつとも呑み助に手前勝手の理窟を云はせると酒は百藥の長つて云ふから藥の中の王樣だ、藥と云つて賣るに何の不思議があるもんかなどゝ云ふかも知れません。

然し藥屋の主人公は藥だと云つて酒を賣るを見つけられると大變だから酒倉にはいつでも番人を置いてあります。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

其番人をまあ皆樣誰だつたと思ひます。皆樣。其番人は日本人です、鹿兒島縣人で末廣伊兵衛と云つて年は働き盛りの三十歳。はる〲と米國まで行つて惡人の手先に使はれるなんて何と云ふ日本人の面汚しでせう。

そればかりぢやありません、七月二十四日、午後十時四十分頃とう〲伊兵衛は酒倉へ押し寄せて來た兩人の警官を酒の元氣で一人を殺し一人を傷け、自分も又警官のピストルの彈丸に當つて死んで仕舞つたのです。

其翌日、ビーアイと云ふ新聞とスターと云ふ新聞とが揃つて『日本の强盜巡査を殺す』と云ふ號外を出したので堪まりません、其町にゐた日本人はどんなに迷惑したか知れません、なかにも哀れなのは伊兵衛に殺された巡査部長ウエデンの家族です。お内儀さんは八人の子供を抱へて泣き叫びます。アメリカにゐる日本の人達は大變お内儀さんに同情して、多額の金を集めて未亡人に贈りましたが、こんな事から日本人は野蠻だ、强盜のやうな人間だと外國人に馬鹿にされるのです。之と云ふも矢張り酒の罪、なんと呑み助のお方々、少し考へて見て戴かれませんか。

たゞ酒が呑める工風はないかと例の呑助、酒屋の前で考へてゐたが、やがてぽんと手を叩いた。

『溝の中に落つてやらう、左樣したら酒を氣付に呑ませるに違ひない、おゝい人間樣が溝へおつこちるぞ、助けて呉れ、酒呑まして呉れ。』

ドタドタガラリビシヤリ、

それ醉漢が溝へおつこつたと云ふので人達が集つてやつとこさと引き上げた迄はでぶ君の注文通りだつたが、今酒を呑ませるかと思つてゐると、何か呑んだには飮んだやうだがどうも酒の味がない。

『おい之りや酒でないぢやないか。』

『ぜいたく云つてゐらあ、水で澤山だよ。』

『しまつた、ぢや落こちるんでなかつた。』

酒は呑めずに泥水を呑んで、おまけに怪我をして五六日仕事を休んだ呑助失敗の卷とござい。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

不用と思つたものが生きて使へる法

家事實習所長　河口愛子

魚類の骨や頭の利用

（十二）フイッシュ　コロッケー

魚の頭や三枚におろした中骨の部分をゆでゝ、骨と肉とを分け、肉を庖丁でたゝき、鹽と胡椒を少し入れて味をつけよくまぜ合す。

フライ鍋又は鐵鍋にバタ或はごまの油をひきて、前の肉をこまかく刻んで、玉葱を入れて絶えずかき廻しつゝいため、皿にとり置きます。ジャガ芋をゆであたゝかい内に皮をむき、よくすりつぶし、前の魚肉とよくかきまぜて、鹽を少し加へて更にまぜ、隨意の大きさと隨意の形に丸め、玉子のよくといたものをぬり、パン粉をまぶし、更に鐵鍋にラート又はヘット或はごまの油で狐色に揚げればよろしい。

（十三）デンプ

前のやうに蒸した或はゆでた魚の肉

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

を手にてもみ、ぼろ／＼にほごし之を一寸火で乾かしたのち、醬油と砂糖を加へて煮る、辨當の菜として最もよろしい。又、燒魚や煮魚の殘つたのも右の方法でするがよろしうございます。

（十四）吸物

前のやうな肉に、くづ又はメリケン粉を加へてかきまぜ、丸くか或はほそ長くつくり、それをごまの油であげて吸物に用ひます。

（十五）フイシユポテト

ゆでたジヤガ芋を擂鉢でよくすりつぶし、鹽にて味をつけ、鹽と胡椒で味をつけた魚肉をぼろ／＼にほごしてこの芋の上にふりかけて出す。鮭や鱒の如き赤味の魚なれば芋の上にふりかけた時まことに美しい。

古シヤツの利用

古シヤツは主に襟と袖口とが切れて居るものです、ネルは袖口の切れた部分を、兩袖とも同じ長さに切り、あとを縫ひちゞめ、口になる布をつけます。身頃の方は小襟を切りとり、脊に縫ひ目をたて、着る人の頸の周りに合せ、小襟になる布をつける、用ゆる布は丈を短かく切り、そのすそ布でいたします。

メリヤスのシヤツの場合も變りません。袖口は長いもの故、五分位切りとり口にひもこむを入れて、くけつけます。巾がひろすぎたら袖下の部を縫ひ込む。又、襟の部を切りとつて脊縫ひをたてともきれで襟をつける、立襟が切れてゐたらば、金巾又は天竺などをその巾に切り

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

て縫ひつけ、ぼたんの穴をあければよろしい、裾は三つに折つてくける。

（十六）濕布又はさるまた

古シャツの袖を切つて濕布に用ひる、頭よりかぶるものは前を立ち切つてつくる。

身頃の裾から切りとつて、すその部を上になして紐を通し、又、下になる部分に四寸四方位の布をまちの如く縫いつけ兩足になる部分を各々縫ひつけます。四角の切れは袖又は身頃の上部からとります。

（十七）枕及び襁褓、薄團

シャツの袖を切り、身頃の部分を程よくふくろに縫ひ、そばから手を入れて縫ひしめ、白布で蔽ふと枕になります。

襁褓薄團は シャツのよい 部分で五寸位の袋を縫ひ古綿を入れます。襁褓と着物の間に入れると着物が濡れる心配がない、この薄團の隅に一寸位の輪にした紐をつけて置くと乾すのに便利です。

古浴衣の利用

（十八）寢冷知らず

襦袢の普通のものより少し長めのもので襟下の長いものをつくる、股下になる處で、脊縫すべき處と襟下とをかたく左右別々に縫ひ合すれば極めて簡單な具合のよい寢冷知らずが出來ます。腰には紐をつける。之も股下に四寸四方位の布を入れるとゆつたりとしてよい。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

内外時事 はなしのたね

記者 坂水正雄

□寺内内閣の成立

大隈侯爵は、自分も最早八十と云ふ齢だから引込んでもよい時だとお考へになつて、總理大臣の職を辭しました、そこで大隈侯爵と共に、ほかの大臣がたも辭職しました、そこで　天皇陛下は寺内伯爵をお召になりまして、内閣總理大臣になれよとの御言葉がございました。寺内伯は謹みてお受けを致し、こゝに十月九日、宮中において、親任の式がありまして無事に新内閣が成立いたしました。

内務大臣は後藤男爵　遞信大臣は田男爵
司法大臣は松室致氏　文部大臣は岡田良平氏
農商務大臣は仲小路廉氏

であります。外務大臣には本野子爵。大藏大臣は未定でありますが、一時この二つの役は、寺内總理大臣の兼任といふことになつて居ます。陸軍大臣の大島中将海軍大臣の加藤大将は、大隈内閣のとき

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

と變りありません。
鐵道院總裁は、前には我が友愛會の顧問で居らせられます添田博士でしたが、今度は後藤内務大臣が兼任といふことになつて居ます。
内務大臣後藤男爵は、もとは役所の給仕でありました。又お醫者をして居たこともございましたが、大いに勉強家で、仕事を精出して勵むために、立身出世して、男爵となり、内務大臣とまでなられたのであります。男爵の夫人かつ子の方は、すこぶる質素な方でゐらせられます男爵の今日の成功は、この夫人が家に居て、いろ〳〵と勵まし、救けたからだと申されて居ます。

□日本人は世界で一番早く死ぬる

生活がだん〳〵、せちがらくなると共に、人の壽命が短くなつて行くさうですと、醫學博士高木男爵のお調べに依りますと、今から二十年前では我國の人の死亡率は千人の中で十九人と云ふのでしたが、今日では二十一人になつて居るのです。ですから二十年前では平均男は三十八歳、女は三十九歳で死ぬると云ふことになつてゐましたものが、今では男三十歳、女三十一歳で死ぬる――澤山長命をする人もありますけれども生れると直ぐ死ぬる者もあり、十歳にもならぬのに

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

死ぬる者もありますから、平均男三十歳女三十一歳で死んでしまふと云ふことになつて來たのであります。

日本はさうであるのに、外國の人は、なか／＼長命を致します。

日本	平均	三十一歳にくらべて
瑞典諾威	は	五十歳
英吉利		四十五歳
白耳義		四十四歳
瑞西		四十四歳
佛蘭西		四十三歳
墺太利		四十歳
獨逸		三十九歳
伊太利		三十九歳
西班牙		三十二歳

と云ふやうになつて居ます。

なぜ日本人は早く死ぬるか、と云ふことも考へて見ますると、人民に衞生の思想が乏いからであります。不養生な飲食をしたり。不潔なところに寢たり、夜ふかしをして十分眠らなかつたり、少しも休まずに働いたりするのが宜しくないのでございます。ことに日本人の一番わるい癖は間食をすることださうです、工女さん工手さんたちも、お氣をつけて、決して御飯時のほかは、たべものをいたゞかないくらゐに衞生の事を考へて戴きたいものです。

□簡易保險は爲めになる

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

政府が十月一日から簡易生命保險といふものを始めました。これは郵便局——どこの郵便局でも取扱つて居ます。月々わづかな錢を出しておきますと、不幸にして萬一の場合死んだやうな時に、三百圓と云ふ大金が下るのです。病氣で死んでも、怪我で死んでも、此のお錢はとれるのであります。老人は日々の掛金が高くて、若い者は極めて少額です。すこしも面倒なことはなく、そして僅少な金錢で自分の身體が保險に附せられるのですから。早くお這入りになつた方がお得です。郵便局へ行けば、くわしく丁寧に教へてくれます。

終り

長らく淺草支部の支部長をなすつて下された河又新太郎氏は此度郡山專賣局に御榮轉なさいまして、十月二十四日の夜上野驛から御出發になりましたが、三百人以上の見送人で驛の人達も吃驚してゐました記者も會員を代表してお見送りいたしました。
皆樣によろしくと氏から御傳言がありました。
淺草專賣局では十月二十七日職工慰安の目的で横濱へ御遠足をなさるさうです嘸大勢ですから御見事であらうと思ひます記者もお伴したいと思つてゐますいづれ來月號に其御報道をしたいと思つてゐます。

懸賞募集

一 短文　〆切毎月十日
一 和歌　宛名友愛會婦人部
一 俳句　賞點、秀逸に粗景を呈す

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

盆踊の晩

紫魂

トロンコトン、トロンコトン、

盆踊の太鼓の音が、若い娘さんの心のように嬉し相に氣輕に、晴渡つた夜の空に飛び上つて、遠く〳〵消えて行きます。遠い故郷で旅へ來てゐる我が娘を思つてゐる親御さんたちの胸にも、此嬉しい太皷の音は屹度聞える事でせう。

今夜は七月十六日、此處は○○紡績工場の廣庭です。一年中の書入日とて、工女さんたちは十日も前からわく〳〵と胸を躍らせながら考へた思ひ〳〵の姿をして、袖を連ねて踊つてゐます。

トロンコトン、トロンコトン。

ちよいと冠つた姐さん冠り、お國振のお百姓の姿をした踊子の後から御殿女中が美しい振袖を着て手振身振もしなやかに踊ります。恥しいのか道化面のヒヨットコ面の隣には印袢纏に落し腰、向鉢巻のいなせな姐さんが此廣庭も狹いとばかりにはねくりひつくり廻つてゐます。

其又踊振を見やうとて、踊子を圍んだ群集は黒山のやう。眼がみんな笑つてゐます。

「よう印袢纏の姐御、素敵な男つ振だな」なぞと仇口を聞いてゐる呑氣者もあります。眞中に築いた音頭櫓の上からは、どんなむづかしい人間の顏でも笑はせにや置かないやうの食ひつきたいやうな美しい聲

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に連れ立つて、太皷の音が絶えず響いてゐます。
トロンコトン、トロンコトン。
と、此賑やかの踊子の群を離れてたつた一人、人のゐない寄宿の外の小松の傍でしく／＼と泣いてゐる工女さんがあります。年の頃は二十歳位、夜目にも確かにわかりませぬが色の白い肩のすらりとした娘さんです。何を思つてゐるのか、あゝあと辛相に吐息を洩らしましたが、顔を上げて眞丸に輝いてゐるお月様を見上げました。涙が、ほろりほろりと零れます。
丁度其時、ばた／＼と足音がして、四五人連れの工女さんが笑ひこけながら踊つてでもゐるやうに、面白相に歩いて來ました。あつと思つたが隠れるひまもありません。涙に濡れた顔を狽てゝそむけますと、
「あら、お由さんぢやないこと。」と誰かゞ云ひます。
「お由さん。」
「まあ什麽したがんだらう、お由。」と一人の年嵩の女がお國言葉で云つてお由の肩をゆすりますと、お由は急にバネにはじかれたやうに、其手を荒々しく振りもぎつて、二三歩ばた／＼と逃げ出しました。
「まあ、什麽したがんだらう。」
「ほととにさ。」
「屹度ね、ほら。」
「あゝ、左様だ、屹度。」と小聲で若い工女さんが兩人囁き合ふと、其聲がお由さんの耳へ入つたと見えて、屹度お由は顔を上げて聲のした方を見ると、ものをも云はず、ずか／＼と飛んで來て、兩人の工女さんを突き飛ばしました。あつと叫んで一人の工女さんは倒れました。什麽したんだらうと、みんなが思ふ間もなく、お由は涙の慄ひ聲で荒々しく怒鳴ります。
「何だつて、何だつて大きにお世話だ、ひ、ひ、人を馬鹿にしやがつて。」
「何にも云ひはしないわ」と倒れた工女さんは起き上りながら、おろ／＼聲で云ひます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

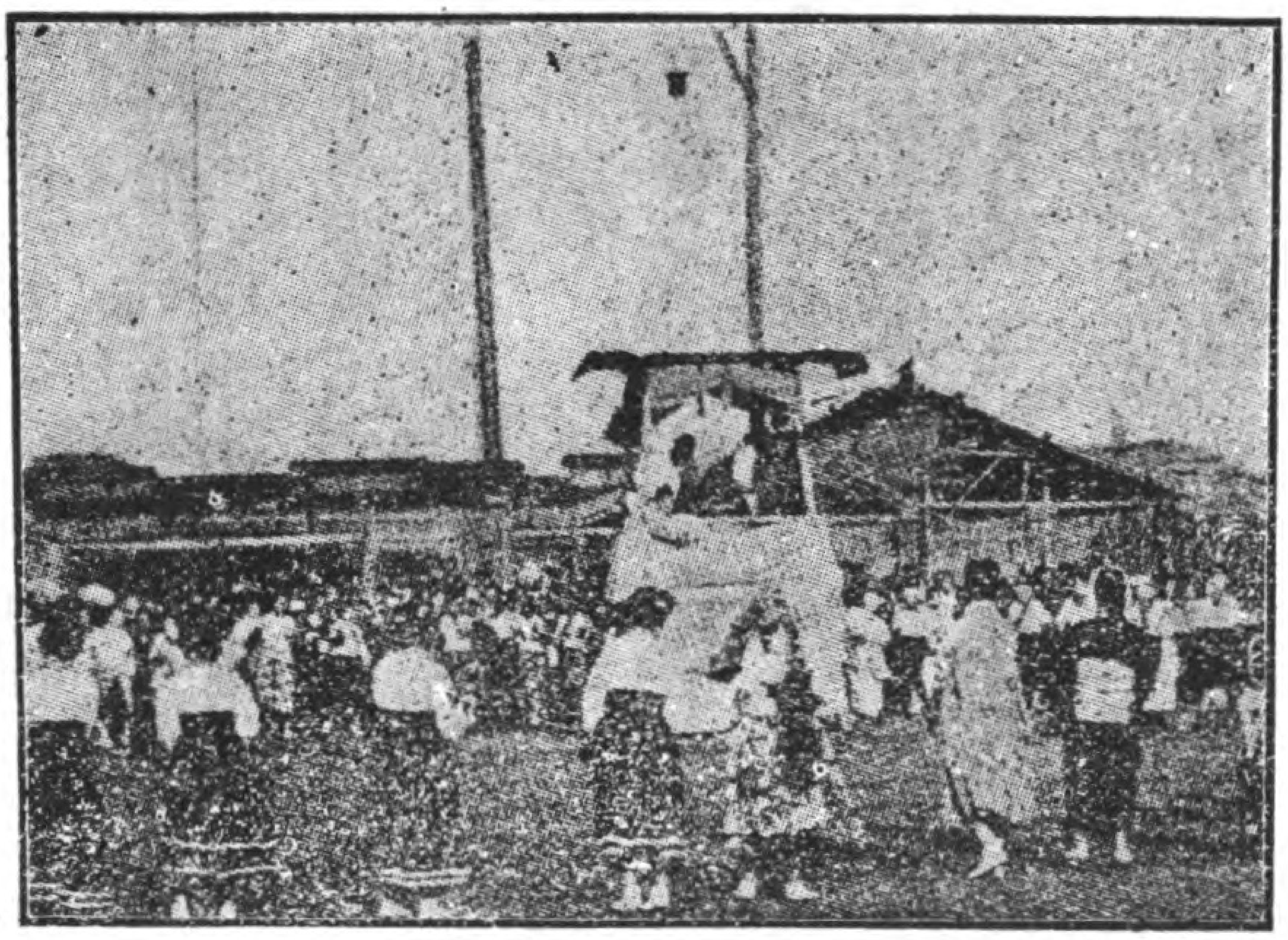
「何にも云はない、つんぼぢやないわよ。ひ、ひ、人をつんぼだと思ひやがつて。」
「全くお由つてば、どうしたがんだよ。」
「何だと」とお由は何か云はうとしたが、急に涙が止め度もなく出て何も云はれません。
「何だよ乾度此人は。」
「あゝ」と一人が頷くと、お由は眼早くそれをみつけて、今度ははつきりと、捨鉢のやうに、
「左樣よ、角田さんと喧嘩したんだわよ、それが什麼したてんだ」と喧嘩腰でみんなに怒鳴りました。
「まあ、」と、みんなは顔を見合しました。
「それが什麼したてんだわよ、みんなで人の陰口ばかりきゝやがつて、妾はつきりと云つてやるが、喧嘩したがそれが什麼したてんだ。」
此人は捨てられたのだよ、こんな風にみんなは思ひました。
「み、みみんなでいじめやがつて、く口惜しい。」とお由は又はら〳〵と涙を零します。

「お由さんてばあ、誰もお前の陰口なぞきゝはしないわ、それはお前の邪推ゝゝ、ゝ‥」と云はせも果てず。
「何だつて、何でもいゝわよ、みんなでいじめやがつて、さあ彼方へ行つてお呉れ、彼方へ行つてお呉れ。」
「あらお由さんの眼が光つてよ。」
「おゝ恐い。」と一人の工女さんはばた〳〵と逃げ出しました。左樣すると續いてばた〳〵みんな逃げて行きます。
「ば、ば馬鹿にしやがつて、」とお由は其後を二三歩追つかけたが、悲しさが又急にこみ上げて來て、よろよろと危く倒れやうとしたが、手に觸れた松の枝に縋りついて、やつと逃げて行く友達を見送りました太皷の音は此世の中に泣いてゐる人なぞがあるやうには思はれない、面白い響きで轟き渡つてゐます。
トロンコトン、トロンコトン。
「お由さあ。」と云へながらふいと影のやうに此時お由の前に現はれたはお友達のお德です。はつとお由

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

が吃驚した時はお徳はしつかりとお由の手を握つてゐました。
「離して、離して。」
「…………。」
「離せつてばよ、はな、はなせつてば。」とお由は泣顔を見せまいとて、身をもがいて逃げ出さうとしますけれども、お徳は猶ほしつかりと手を握りしめて放しません。
「何だつて放さないんだよ、馬鹿」とお由はひがんだ聲で毒々しく罵り出しました。
「お由さあ。」とお徳は此時同情の深い力強い聲で呼びました。
「お由さあ、お前昔の事を忘れたかよ、故郷を出る時、どんな事があつたつてお互へに助け合はうてあれ程固く約束したぢやないか。」と、思はず涙ぐみ、

揃つた



揃つた

踊子が揃つた

「すつかりお前、人間が違つて仕舞つたのねえ。」と恨まれて、お由ははつと思ひながらお徳を見ると、お徳の眼には涙がきらりと光つてゐます。
「それにお前。」と靜かにお徳は手を離して。お由の顏をしげしげ眺め、
「お前も隨分苦勞したねえ。」
「お徳さあ。」と今度はお由が思はずお徳の手を握つて。
「お前今でも妾をお友達だと思つてくれるの。」
「お友達だともさ。」
「こんなに自墮落になつた妾でもか、こんなに、こんなにやくざもんになつた妾でも。」
「そんなに邪推するもんぢやないわよ。妾の心はいつでも違つちやゐないぢやないか。」

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「おゝすまないはね」とお由は夢中で友達に縋りつきました、
「可哀相に顔がすつかり痩せて仕舞つたはよ。」
「妾ね口惜しくつて口惜しくつて。」と又お由はさめ〴〵と泣きます。お德は友達の亂れた髮を直してやりながら、しみ〴〵と、
「男つて者は全く罪なものねえ、そしてもう何處へ行つたかわからないの」と云うて、聲をひそめて「あの人は。」
「まあ!」とお由は辛ら相にお德の話を止めて、
「そんな話はもう〳〵止して呉れよ、みんな妾が惡るかつたのだからね。だます人よりだまされる方が惡いのよ、之れと云ふのもみんな親不孝の罪よ。」
「親不孝の?」
「あゝ阿母さんに逢へたい。」と心からしぼり出すやうの聲で云ふて、お由はお月樣を見上げました。空はすつかり晴れて、昔の儘の月の光は眞丸く鏡のやうに澄み、盆踊の騷ぎは懷しく響き渡るけれども、賑やかのうちに靜かの晩です。
「あゝ阿母さんに逢へたい。」と繰り返してお由は呟いたが、急に聲を沈ませて、
「阿母さんに逢へたいたつて逢へる身體ぢやありやしないはね。」
「何だつてそんな事を云ふの、お由さあ。」
「わたしはもう覺悟してゐるわ、わたし疊の上で死ねる身體ぢやないわよ、男のおもちややなぐさみもんになつて、末はどうせ、並木の松の肥料になるのよ。」
「又そんな捨鉢な事を云ふ。」とお由を優しく睨んでお德、
「それがひがみと云ふものだわ、早くねお金でも貯めて故郷へ歸れば立派な世帶がもてるぢやないか。」
「駄目々々」とお由は首を横に振つて、
「こんなひゞの入つた身體ぢや世間樣はもう對手にしはしないわよ、それに世間つて奴、ほんに世間つて奴には深い恨みがあるんだ。」

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「そらあね、」とお徳も頷いて、
「お前のやうにさんざつぱら男にだまされちや左様思ふのも無理はないけれどね。」と言葉を切つて、ややお由の顔を見てゐたが、思ひ切つたやうに、
「お由さあ、お前怒つては厭よ。」
「何を、何も怒りはしないよ。」
「怒らなきや話すがね。」
「あゝ怒りませんとも。」
「あのね、お前の男を見る思想が違つてゐると妾は思ふわ、そうら、そうら、怒つちやあ厭だと云つたのに。」
「怒りはしないわ、怒りはしないけれど、」とお由は淋しく笑つて、
「お前と妾とは人間が違うんだものね、お前は男の事なぞ何とも思つてゐない人間だからね。」
「妾だつて男の事を思つてゐるわ」
「まあ」と云つて、お由はあきれたやうにお徳の顔をしげ／＼見ました。お徳は笑ひながら、
「何も不思議ぢやあないわよ、妾だつて人間だもの男の事を思はない事はないけれど、たゞそれを表面に出さないだけの話なのよ。」
「まあねえ。」とお由は益々あきれて、
「お前も矢張左様かしら、で、其男と云ふのは何處へゐて、何をしてゐるの。」
「そんな男、妾にはありやしないわ、」
「ない。嘘を吐いたのね。」
「嘘ぢやない。」
「ぢやあるのかい。」
「あると云へばある。」
「だから何處にゐるかつて聞いてゐるぢやないか。」
「何處へゐるか知りはしないわ。」
「何云つてゐるんだね、あるのかないのか。」
「ホ、、、、、。」とお徳は笑つて、
「實は妾の男と云ふのは此廣い世界中にたつた一人しかないのよ。」
「だからさ、其男はどこへゐるかつてのさ。」

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「何處へ居るつて定まつてゐるわけぢやないのよ。」
「何だか變だね。」
「妾ね、きまつてゐるわけぢやないけれども、いつか一度はお嫁に行く身體だわ。」
「それは極つてゐるわ。」
「ぢや、妾に連れ添ふたつた一人の男はどこかにゐるに違いないわ、妾は今此處に斯樣してゐるけれども、其人も矢張どこかに何かして生きてゐるに違ひないのだからね、だから妾何か惡い氣の起つた時はこんな事をしては其人にすまないと思つて慌て〻止して仕舞ふのよ、それから妾屹度のち〳〵は子供をこしらいるに違ひない。」
「まあ、そんな事迄考へてゐるのかい。」
「あゝ、だからね、もしも妾が惡い事をしては其子供にもすまないと思ふのよ。妾の母親はこんな惡い事をしたなぞと思はれたくないものね、」
「左樣ねえ、お前は眞實に考へてゐるわね。」
「だから妾惡い事は尠しもせずに、一生懸命働いてゐたら、屹度妾を可愛がつて呉れる人が喜んで迎へに來て呉れるやうな氣がいつでもしてゐるのよ、だから思ひ出して獨りで笑つてゐる事もあるわ。」
「羨ましいわねえ。」
「羨ましいたつて、他人の事ぢやありやしないわよ、お由さんだつて矢張左樣ぢやなくつて。」
「駄目〳〵と」お由は先刻のやうに矢張首を横に振つて、

「妾の身體にやひゞが入つてゐるんだからね。」と云つて涙ぐんだ。
「又初まつた。それはひがみと云ふもんだわよ。」
「ひがみならいゝけれど、あゝッ」とお由は吐息して、
「妾は惡かつたわ、ちよつとした心の狂ひから一生を、めちや〳〵にして仕舞つた。」
「お由さあ、」と力を籠めて呼んで、お徳は、
「眞實にそれぢやお前惡い事をしたと思つたかい。」
「眞實に惡い事をした、眞實にね心の底からお徳さあお前を羨ましいと思ふわ。」
「おゝよく左樣思つたよ。」と友達思ひのお徳は犇とお由の身體を抱き寄せて、

「左樣云ふ心になればね、今迄の事なぞ何でもないのよ、すつかり水に流してね、之れから氣をつけて仲よく働きませうよ。」
「でもね。」
「何にも云はずにね、一生懸命働いて見ませうよ、何か思ひ出したら働き、口惜しいと思つたら働き、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

惡い心が出たらやつぱし一生懸命に働くのよ。」
「でもね、それで妾の罪は消えるかしら。」
「お月様をごらんよ。」と、お德は空を仰いで、
「何と云ふ良い晩だらう。人間にはね、罪なんてありやしないのよ。たゞ惡いのは惡いと悟つてからも惡い事を止めない人ばかりよ、惡いと知つて止めたら神様は何でも許して下さるに違ひない。」
斯様靜かに云ふたお德の姿は神様のやうにお由には思はれました。
眞實の幸福な世帶を持つには、男狂ひなぞは死んでも爲るものではないと、お由はしみ〴〵と悟りました。
良い月夜の晩に盆踊のはやしが響きます。今迄の惡い行ひを悔ひ悲しんでゐるお由の胸に太鼓の音が聞えます。
トロンコトン、トロンコトン、トロンコトン。

小曲

棠魂

眞實に考へて下さい。眞實に考へて下さい。
あなた方の運命は、
　あなた方の心がさせるのだ。

私は今東洋印刷の二階の校正室で、
　あなた方の事を思つてゐる。
私は今私の作の小說、
　盆踊の晩の校正を終つた所だ。
私は今あなた方に同情する、
　熱で心が一ぱいになつてゐる。

眞實に考へて下さい。實眞に考へて下さい。
あなた方の運命は、
　あなた方の心がさせるのだ。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

風邪が流行る

醫學士　竹内薫兵

之から風邪が流行する時です。

風邪にもいろ／＼の種類があつて咽喉の病氣、頭痛、熱の出る病氣、咳のひどい氣管支加答兒、實扶的里に似た扁桃腺炎頭の痛む偏頭痛などがあります。　其他重病の發する初めの様子も亦普通の人には風邪と思はれる事がありますから注意しなければなりません。

之等の豫防法は第一に氣候の變化の烈しい時、空氣の動搖を避け、身體の丈夫な人は平常から進んで氣候にまけない良い習慣をつける事です。

襟巻は咽喉を急にあたゝめたり冷したりするから餘り好ましくありません。子供ならば身體を害はぬ程度の薄着に慣れさせ、霜焼けなどが出來ぬ程度に足袋をはかせないのも惡くはありません。　冷水摩擦は皮膚を鍛練するので續けてすれば皮膚に抵抗力が出來ます。　また薄い鹽水を鼻から入れて咽喉へ出したりする、之も子供には不適當ですが大人にはよからうと思ひます。　いつでも呼吸は口でせずに鼻でするやすにうれば確かに好い豫防法となります。

温かい部屋に居て急に冷たい戸外に出てはいけません。　西洋の家庭では、應接室から玄關に出る迄ストーブも何も置いてない部屋を通る事にしてあるのもこの邊の注意からでせう。

次に治療法は昔から發汗療法といつて汗を出せば癒ると信じられて居る、之は確に一面の眞理で、醫者でも之は應用してゐます。汗を出すため、着物を多く着て熱いうどんを食べるもよいでせう、熱のある時はなるべく寝るか或は部屋の中に靜かにゐて貰ひたい、咽喉の痛い場合には熱があれば、冷水で濕布をなし、熱が無ければ温かい湯に浸して固く絞つて濕布をしたり度々鹽水が硼酸水かで嗽ひをする事が一等です。　頭の痛い場合には直ぐ冷しますが、熱のない時は、温かい濕布か蒟蒻を煮て、布で包んで、頭に當てゝ居るとよくなります。　水鼻の酷く出る時には、ガーゼか手巾を一寸四方位に折つて湯につけて絞り鼻の上にのせて度々温めるとよろしい。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

評判は立てられて

よろしい時と悪い時

東京鐘紡本店　勿忘草

東京は芝區三田四國町に、番地姓名は秘密にして置かねばなりませんが、ある上手な御醫者がありました。所が御世辭や御上手を云はない故でもありませうか患者があまり來ないので困つてゐましたが、或る時、ある人の御世話である伯爵の御邸へ出入を許される事になり、伯爵家からは何日の何時に面會すると云ふ御通知が來たのでお醫者さんは大喜び、其日は朝早くから出掛けましたが伯爵は終日待たせてとう〳〵面會して呉れません、醫者は不平やら悲しいやらでがつかりしてとぼ〳〵と歸宅しましたが、其翌日氣をとり直して出掛けますと、矢張終日待たせて會つて呉れません、其翌日も同じ事、其又翌日も同じ事、一週間ばかりと云ふもの、今日は今日はで伯爵の御邸へ日參しましたが、とう〳〵伯爵は會つて呉れませんので、流石の醫者もすつかり腹を立てゝ仕舞へ、此後はもう伯爵の門は潜るまいと固く決心致しました。

　すると、不思議の事には其後と云ふものは、どうしたものか治療を賴む患者が日に日に殖えて、其上大層身分の高い人からも御招きを受けるやうになりました、はて什麽云ふ原因かしらと、醫者は喜んだり不思議に思つたりしましたが、追々、其原因がわかつてきたやうに思ひましたので、早速伯爵の御邸

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

へまゐりました。所が伯爵は今度は快く直ぐに會つて下さいまして、
「此頃は大分繁昌する相ぢやね、御目出とう、此間は大變怒られたと云ふが失敬したね、ハヽヽヽヽ。」とお笑ひになつて、
「今日は別に自邸に病人もないが、何なしにお出でになられたな」と云はれて、醫者は頻りと恐縮して、
「實はその今日參りましたるは、先日のあのお詫びに參上したやうなわけであるのでありますが、」
「御詫びと云ふと？」
「へえ、伯爵の深いお心を知らなかつたもの故、ついお恨み申したやうな譯で、はい、此頃になつてやつと伯爵が私に御面會下さらなかつた譯がわかつて來ましたので、」
「と云ふと、什麼云ふ工合にわかつたかな。」
「はい、實は此頃非常に病家が殖へますので不思議に思つてつらつら考へますると、つまり伯爵の御邸に一週間も參上したと云ふが大變良い評判になりまして。」
「成る程、左樣か、わしも左樣思つたからわざと面會しなかつたのぢやでもしも初めの日直ぐに面會したならば誰もあんたが私の邸へ出入をすると云ふ事がわかるまい、一週間も無駄足を踏んだればこそ、つまり評判になつたのぢやね、何しろ御目出とう、」と云はれて、又愉快相に伯爵は笑つた。醫者は今更のやうに、伯爵の機智と御親切とに感泣し、又評判といふものゝ力の大きいのに驚いたと云ふことで御座います。何と皆樣此お噺を思ひましても。評判の力の大きいことにお氣がつかれませう、世人はいゝ事も惡い事も針のやうに細かいものを棒のやうに太く評判いたします、一圓のお金を持つてゐる方がありますと人は之れを十圓位の評判信用をし、十圓のお金のある人は百圓、百圓の金ある人は一千圓、一千圓の金あるものは一萬圓の評判をし、信用をいたすものであります、どうかみなさんも其おつもりでどん〳〵と貯金をし、善い評判を世人からされるやうに。又評判ばかりでなく立派な御婦人となられる事を御願へいたします之れに反して惡い評判をたてられたら大變です、ちよつと間違つた事をすると世間はそれを今のお話の反對に、ずつと惡い評判をたてるもの故、ついやけくそになつてだん〳〵惡い深みにはまらないとも云はれますまい、そんな事のないやう、充分御注意下さいまして、又少し位の評判をたてられた時は、直ぐとそれを打ち消すやうの良い行ひをして、御成功なさる事を祈り上げます

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ひとくちばなし

◎コレラの熱

コレラが流行る爲め、交代日にも外出出來ない工女さん、やけになつて寄宿で唄を大聲で唄ひ合てゐると、之を見付けた舍監。

「あゝ大變だ、みんなコレラになつて、熱に浮かされてゐる。」

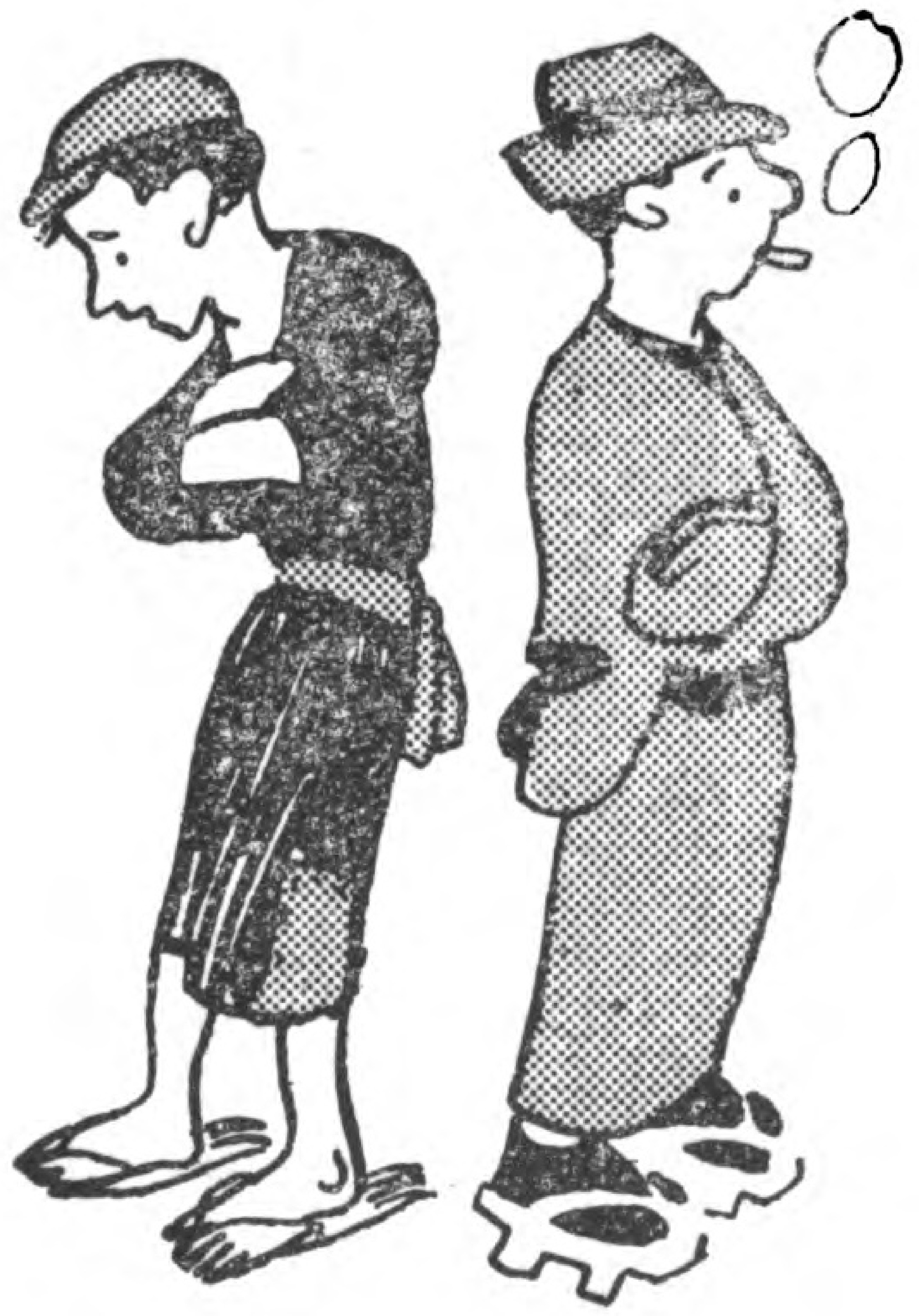
◎八釜しい工場

「是非ね、あなたの工場で働いて見たいは。」

「だがね、自宅の工場は初めの一週間位は、がみ〳〵とそりや八釜しいんだよ。辛抱出來るかしら。」

「左様ねえ。」と工女さんは考へたが、ぽんと膝を叩いて、

「いゝ事がわかつた、初めの八釜しいうちだけ、あなたのお自宅で遊んでゐるわ。」



◎行衛不明

「人間はお金がなくなつて食へなくなると行衛不明になるんだつてね。」

「あら嘘よ。うちの兄さんは勘定

の晩、お金が懐に入ると屹度行衞不明になつてよ。」

◎お墓見物

「ねえ浪子の墓は青山墓地にあるんですつてね。」

「左樣ですわ。」

「ぢや、墓地に行く道を敎へて頂戴。」

「お死になさいよ、左樣したら直ぐ墓地に行けてよ」

◎御禮の言葉

年老つて仕事は出來なくなつたが、口ばかりはタッシャでがみがみ云つてはみんなを困らせてゐる可哀相のおぢいさん職工がありました。或る時上役と喧嘩をして。とう〳〵工場を止して仕舞ふと云ひ出しまして、左樣して左樣云つたら工場では困つて屹度止めるに違ひないと思つてゐます、所が之れを聞いた上役、願つたり叶つたり早速止して貰はうと思ひましたが、永年務めてゐる事であるから、せめてはいくらかの御禮をしたいと思つて、お金を十圓添へて。御禮を云つた言葉が面白いのです。

「おぢいさん、隨分長い間よく働いて吳れたねえ。」

「えゝえ、どういたしまして。」

「何かい、此度止めるつてぢやないか。」

「へえ、私も大分年をとりましたからね。」

「左樣か、君が止めると云ふんでね、工場の方は大喜びで・其御禮として十圓差上げやうと云ふんだよ。」

◎霜月

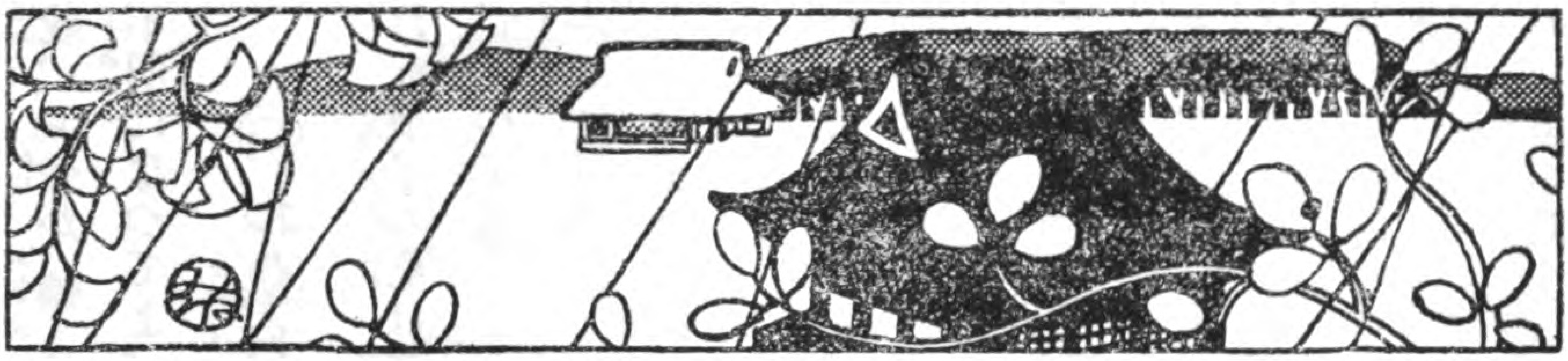
雪國から來た工女さん

「東京でも十一月を霜月と云の。」

「きまつてゐるわ。」

「だつておかしいわ、東京では十一月には霜がふらない事よ。」

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



友愛歌壇

芝區芝口　藤　江

妹に銀貨一ッを握らする
　姉ぞとわれは悲しかりける
（評、すまないねと心の中に云ふて涙ぐむ姉の顔のいじらしさよ）

千住　とみ子

職長の命ずるまゝに働けと
　わが職業の悲しからずや
（評、職長が無理な事でも云ったのではないかしら）

行く秋に芒そよげる門の内
　月さす窓に眺めあかさん　芝愛宕町　山本　末子

夕ぐれやまだふり止まぬ霧雨に
　みどり色ます都路の松　同

秋ふけて鳴く蟲の音も絶え〳〵に
　しぐれふる夜はいとゞ淋しき　南千住　かれ子

草の葉に霜置くほどに秋たけて
　歌ふ蟲の音いとゞ哀れに　同

澄みわたる月の光も我友の
　くろき心ぞ照さゞらなむ　同

窓により蟲鳴く野邊を眺むれば
　澄み渡りけり秋の夜の月　同

秋風に身仕度くもなく家を出づ
　嵐のあした栗の林に　同

香ぐはしき菊の花こそ尊けれ
　我大君の御統にあれば　府下六郷村　てろ子

曉の鷄の聲勇ましく
　靜けき朝の心地よきかな　保土ヶ谷　笑子

なつかしき姉より來る文讀みて
　靜なる夜をひとりほゝえむ　同

故鄕の父母戀しとて少女子は
　山を眺めてなみだせるかな　同

夜あそびはけしてすまじと誓ひけり
　我をいとしむ父母のため　同

辨當を小わきにかゝへ工場を
　指してぞ急ぐ我は樂しも　王子　大橋さい子

指先にこめし眞心現はれて
　今ぞ手にせる戰時賞與　同

君思ひ君居る方を眺むれば
　只秋風ぞ吹きわたり行く　同

我背戸に人來と思ひよく見れば
　桐の一葉の落つるなりけり　上大崎町　清子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

逝く秋や月のかげさす我庭に
　ひとり淋しき夕顔の花　　上大崎町　清子

工場に行く兄を送り貧なれば
　われは家にて手内職なす　　押上　花江

心なふ彼方の丘を見つむれば
　少女が二三夕陽あびつゝ　　王子　黒川ふさ子

木の葉散るお堀の傍を小官吏の
　頭の中には妻や子の顔　　同

やゝ倦みし機械をはなれ月によれば
　泣かまほしけれ秋雨のふる　　大阪　つれ子

我二十老ひ行く秋の淋しさを
　暫時わすれて紅葉なかむる　　京都　房江

友愛文壇

蜘蛛

芝口一ノ八　木村かほろ

赤い夕日が山の端にかくれるころ私は二階の窓から表を眺めて居た物干の框と戸ぶくろへ蜘蛛が自分の住むべき巣を造りはじめた、蜘蛛はたゞ一すじの絲をたつて一生懸命にいへをつくつてをつたやがて多角形の立派な巣となつた蜘蛛は王樣のやうにすましこんでお前は人間であり乍ら尊い時間を知らずにぼんやり暮して居るのか人は萬物の靈長だ一生懸命お働きそして私の樣に自分の家をお造りと云はぬばかりに私をぢつとにらんだ。

友愛俳句

夢笑ひする子豊かな布團哉　　鐘ヶ淵　佐山八重子

月清く我身に光る秋の來て　　荏原　馬場壽ゝ子

妹のすねて寝入るや置炬燵　　城西　田崎多美江

白足袋や家庭に馴た姉妹　　品川　大矢咲子

子を持ては笑ふ日もあり年の暮　　瓦斯紡　菊谷かれ子

美女欄に倚りて默しぬ行秋に　　淺草　北川千代子

白菊や色なき色の美しき　　吾嬬　塚本君子

さし足袋や母の情の針の跡　　川崎　栗木元子

移り香も床しき菊の人形かな　　岩代　吉田はる子

順禮の濡れて戻るや秋の雨　　神戸　阿部末子

立てかけし琴の空音や秋の風　　兵庫　篠崎せん子

高楼に琵琶の秘曲や秋の月　　京橋　羽田とみ子

愛嬌のある咲ぶりや女郎花　　本所　菊地はつ子

コスモスの花匂ふなり秋日和　　保土ヶ谷　笑子

絲紡ぐ業や尊し國の富　　同　同

軸

表彰の孝女を訪へば砧かな　　選者

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

記者より皆樣へ

■先月號の判じ畫は**お山の大將おれひとり**と讀むのです。答案は三百十二通集りました、其うち正解者百九十七名。くじびきをしまして左の十名の方が御當選なさいました。

市內本所區押上町	近藤なみじ
富士紡押上工場內	宮下せん
富士紡押上工場內	菅野すて
神奈川縣川崎町	來野きよ
市外赤羽岩淵町	川鍋きく
府下大久保町	松井よし
淺草區北富坂町	中村たれ
市外荏原郡大井町	黑田さく子
神奈川縣保土ヶ谷町	原田よしゑ
橫濱市羽衣町	佐藤とわ

今月號の懸賞あて畫は第十五頁に出てゐます。先日よりは少しむづかしいかも知れませんがよく考へて下さいまし。

■先月の答案に東京ともなんとも書かずに唯友愛婦人として端書をお出しになつた方が十二三名ありました。たゞ友愛婦人と書いたばかりで本部へ屆いたのは不思議の位のものです。此次からはどうぞ次に書いてある宛名で出して下さい。「**東京芝區三田四國町二、友愛會婦人部御中**」

■今月は東京電氣の川崎工場大井工場それから鐘ヶ淵紡績會社を手分をして御訪問いたしました、會員の方々にもお目にかゝつたのでありませうが。お顏がよくわかりませんので御あいさつも申上げずに失禮しました。追々と皆樣の工場々々でのお働き振りを見せて戴きたいと思ひます。其節は何分とも御力添へを願ひます。近い中に煙草專賣局と毛織物會社其他にお伺ひしたいと思つて居ます。

■淀橋の專賣支局で川越へ御遠足なさいましたと新聞で拜見しました。麻布支部では家族會をなさいました。大變面白かつた相です。これから其樣の事があつたら御面倒ながら婦人部へ御通知下さい。記者が出張して。其有樣を友愛婦人で會員の皆樣にお知らせいたしたいと思つてゐます。其他變つた事や面白い事や悲しい事があつたら御通知下さい。特に幹部の方々に御願ひいたします。

■だん〳〵寒くなります。お身體御大切に遊ばしませ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新入會者

本所支部

種澤キヨミ　鈴木ヨシ　小野寺ミツ　渡邊サト　中野ミエ　寺崎チトセ　千坂イヨ　谷キシノ　木村キヨ　西成田ハル　細川テツヨ　宗像チノ　水島キク　遠藤イワチ　白田ヤエ　松本サダヨ　阿部サク　佐藤ミネ　加藤トク　鈴木スエノ　小野ナツ　稻田ツメヨ　鈴木ハル　長尾チヨ　庄司フヨ　相澤イナ　西成田マス　山田ヤエ　寺田マツエ　相原シヨウ　原サダ　式會社會員　吉田すゑの　霜鳥きく

菊地ミキ　設樂ヨシエ　大黒ミヨ　岩崎スエ　大場キヨシ　和泉ツヤ　遠藤カノ　大友ハナ　永井ウタ　脇坂ハナヨ　松見わか　阿久津サキ　工藤タミエ　高崎キン　若生エイ　杉原ユキ　林ヤエ子　佐藤カツヨ　濟水ハジメ　伊藤スイ　白石ユキ　伊藤タキ　梅津フヨ　坂本ハリ　田村セン　遠藤サダ　高橋マツ　澁谷キク　杉山たつ　丸田カネ　日清紡績株　水島はよ　佐々木こぎく　林せき

村山まさ　塚田きせ　上島きよ　片桐しげ　志賀ちよ　高橋はるゑ　山岸かれ　多賀きみ　高野つた　佐藤あや　金子ふみ　小川としゑ　大友かれよ　石川とし　齋藤みちよ　阿部さつき　小松こぎく　五十嵐こと　大澤つれ　高橋ハル　赤間ヤナキ　佐藤フク　齋藤ヤイノ

高橋はじめ　羽鳥つた　本田とめ　横山はろ　箕輪ゐき　山崎ちよ　坪田かしく　大倉きの　熱海ひさゑ　大久保つぎ　川口いし　草野たまゑ　田中たみ　若松しげ　小林くまよ　大久あやの　平野ちよ　高野きよ　高野つよ　今野イネ　武田ミツ　清野サキ　高津トミノ（百十二名）

保土ヶ谷支部

笠原キヨ　齋藤サキ　本田サタエ　石川タキヨ　伊藤ヨシ　鈴木キクミ　池田セツ　小林トヨ　田中ハツ　重野トウ

近藤ミネ　齋藤マトカ　藤田コイチ　屋形タマコ　小林キン　川原ハナ　森マツノ　小池トヨ　渡邊タケ　遠藤ツル

榎方ツル　赤井キサ　阿部イツ　梅塚ヤツエ　清水キン　高橋マツエ　足立コヨ　田島サル　志村ソヨ　中村チヨ　永井ミツ　高橋ミヨノ　濱口トキ　宮野チセ　佐々木クニ　高柳キヨ　千代谷キエ　小高コヨ　佐藤サカリ　森サダ　神山サク　落合千代　大槻スセヨ　木幡キクノ　和田ユキ　後藤セツ　高橋トク　樋口ハル　佐藤ナチ　遠藤トミ　門田ナホエ

及川ハチエ　長内キサ　山下カチル　水澤チヨノ　櫻井セツ　長峯サツ　靑山キン　高橋トヨ　小山トキ　菊地コナミ　外館ミク　敦賀デル　伊藤フジ　鹿野トシチ　屋代スノ　大坪リウ　吉岡コト　佐々木カツイ　須藤ヨネ　千葉ミキ　今野フジ　屋形ミヤチ　大島ヨシ　竹本千代　井山タケ　尾形チヨコ　菊地サダ　小野寺コンズ　菅野ウン　伊藤トミ（八十一名）

千住支部

藤村トラ　武弓ハヤ　渡邊ヤエ　長沼ハツ　宮本ハル　谷内キヨ　關タメ　廣瀬キク　池田キク

吉川キク　白石スギ　倉川ハナ　鈴木アキ　岡野トラ　佐藤アサノ　佐々木キン　柳瀬トミ　池田サツ

西村ミン　野中カノ　早川ヨシエ　若林トヨ　小山チン　大島ナホ　小堀アキ　小峰ミネ　宇野ヨシ　川島シン　小俣スミ　飯野アイ　柏木カメ　小倉ヨシ　嶽イト

飛塚マヅ　鹽澤ヨシ　渡邊ツル　清水スヾ　田山ハツヨ　五十嵐ヤス　生沼キミ　井上マキ　佐藤ハル　鈴木キヨ　猪狩ノイ　富岡スユ　田口スギ　山崎チエ（四十七名）

荏原支部

遠藤フク子　大木鑑子　廣島ハマ子　細谷カネ子　高橋春子　平林キン子　川隅マキ子　橋本ツルエ　前澤ヤス子　黒田サク　齋藤カオヨ　荒木カネ　羽田ヤエ　小野田ミツ　荒トヨ子　石井ミツ子　平林テツ子　本宮トリ

鈴木由紀枝子　羽根田善子　箱島千代子　加藤ハマ子　永坂フク子　萩原テツエ　橋本マツ子　中山カネ子　吉村マスエ　増田ハル　渡邊八重子　山口サダ　佐久間タケ　上野セヨ　澤キク子　山田キト子　三ツ木コウ　田中サクノ（三十六名）

京都支部

瀬野りよ　富田千代野　岡田ひで　杉立はる　竹内スヾ

西村さつ　澤田たつ　木村ゆく　池田ヒサノ　高木ツル

林ハツエ　谷口マキ　野入マサ　柴田ウノ　矢野松野　舟戸シヅ　原多喜代

町原はろ　吉岡のぶ　里見ふさ　末竹エツ　上羽なつ　里田政江　前田むめ（二十四名）

吾嬬支部

角山シゲ　松川ウメ　矢作キクエ　兒玉カヨ　蓮沼ヤス　佐孫ヨシ　加藤ケイ　加藤キヤ　萓原ハツエ　今泉ヨシ　内山トワ

安達リヤウ　廣川リツ　高橋えい　加藤ケイ　圓谷マス　穴戸チヨ　近藤ソネ　山崎ウラ　齋藤トメ　山口ヤス　櫻澤タカ（二十二名）

川崎支部

岸邊朝子　高橋エフ　高石ハツヨ　市倉イト　白田富久　彦坂艶子　羽生キヨ　三浦セツ　磯崎テツ　阿部トワ　極呂ワイ

荒井デン　石井ナチ　辻シズ　目黒タツ　稻本ワカ　來野喜代　木村カネヨ　松本ミヨシ　吉田ナカヨ　高倉ウメノ（二十一名）

輪西支部

管野コマツ　小野トク　佐藤ヒサヨ　伊藤マサ　江副ソノ　高橋ナミ　景山ハチメ

小野カメ　加藤田カネ　三島キサ　八島ツヤ　相馬ユキノ　伊勢ミツ　村山セワ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

大阪第一支部（十四名）
増田セキ　安田タツ　宮坂かの子　平田政子　柳本サナ　湯淺ナカ　橋本テル
山西ソメ　喜榮千枝子　眞木公子　山下ヨシヱ　向井テル　貝賀エン

鐘ヶ淵分會（十三名）
米重チヨノ　佐藤ヤイノ　加波スギノ　伊藤ナツ　吉田イネ　渡邊キン
佐藤キクノ　鶴島ムメ　安藤シズ　奈良花子　安藤カメ　渡邊ギン

江東支部（十二名）
依田カン　佐々木濱江　大塚ツル　蠟田シン　和氣トク　川上豐
齋藤ヨネ　山名キヨ　岡田ケイ　岩田ハル　川上勝

内郷支部（十一名）
高木セン　小川ハチ　濟水ミヅ　日野ハナ
秋山チヨ　木田トヨ　大金トミ

麻布支部（七名）
石田とし江　三木とめ　井關千代
川井さの　小林たけ　長谷川豐子

王子支部（六名）
夏目千代子　黑川フサ子　池戸なか子
本田キヨ子　追川はな子　寺尾こと子

中央支部（六名）
相磯しう子
吉田さき子

今井たつ子　椎名たけ子
小瀧克巳子

京橋支部（五名）
磯上テル子　酒井サク子　佐竹モト子
木村アイ子　小林ハツ子

城西支部（五名）
市川ハツ　佐々木とめ
小林はつ　寺島チカ

深川支部（四名）
久松ヒサ　倉チヨ
内田ノア　檜山キミ

山口分會（四名）
吉松むつの　井原靜子
藤井まさ子　福岡かつ子

吹谷支部（四名）
御代安太　高田マス
高原イネ　渡邊キミ

本芝支部（四名）
山本サワ
原田ヒナ

三宅キヨ

磐城第二支部（三名）
古市サツ　比佐マツ
大原チヱ

葺合支部（三名）
大澤とみ子　佐藤ツルヱ
鍋田まさ子

八茎鑛山支部（二名）
鈴木ツヽ
高橋はつせ

磐城第三支部（一名）
沼コト

横濱海員支部（二名）
小川サノ子
國貞マツノ

城南第十分會（一名）
島山ちか子

岩代支部（一名）
二瓶カツチ

大阪支部（一名）
割石智惠子

久堅分會（一名）
佐治たづ子

新任委員

本所支部
高橋キクノ　阿部チドリ　小熊タマ　渡邊タケヨ　本間コマン　大黒ミヨ　佐藤カツヨ　池上チヨ　吉岡ふさ
前後キヨ　中澤トメ　佐藤サト　金子トメ　藤島トミヱ　山本ハル　菅野ステル　菅原ヤスノ

荏原支部
宮下榮　岡崎キク　後藤マキ　羽毛田モト　小栗リウ

吾嬬支部
北野かれ子

鐘ヶ淵分會
佐藤キク　菊地ミヨノ
高地トシ　中田マツ　石井ミツ　牧田敏　越前りつ　佐藤マツ

支部會報

□富士瓦斯紡績押上工場を中心として三田土ゴム會社及東京モスリン會社の一部を併せて創立未だ日淺きにもかゝはらず先月まで二百五十名以上の會員が申込あり益々發展の途を講じ居りました處本月中龜戸の日清紡績會社から六十名一時に申込あり三百名以上の會員が出來ました本會の目的は申迄もなく吾々の將來の問題を解決するに必要な團體を造る唯一の機關でありますから會員皆々樣が本會の必要を未だ知らない方々に御申傳へくだされ本所方面に於てます〳〵發展されん事を希望してやまない者で有ます。

（本所支部婦人部役員代表者記）

因に當支部に婦人部講演會を近くに開く豫定でありましたが流行病のため何れの會社も外出禁止中の由なれば今少し穩になりましてから會合する事にいたしました。終りに各部の役員皆々樣が殊更に婦人部の爲に御盡力いたされ居る事を感謝いたします。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

月刊雜誌『友愛婦人』

▲代金は總て前金を申受ます。
▲御送金は振替貯金郵便爲替郵便切手代用の三種ある
▲振替貯金は尤も簡便確實であります。拂込用紙は郵便局で無代で呉れます。
▲振替貯金の口座番號は東京三一五七番です。
▲郵便の爲替の時は『受取人宿所氏名指定欄』に東京芝區友愛會本部と御書き下さい。
▲切手代用は一割増の事。
▲着金の時は直ちに送本し別に受領證を出しません。
▲御送金の報知、註文、問合は販賣部宛に願ひます。
▲御轉居の時は新舊兩方の住所を御書き下さい。

御注意

▲友愛會には此の『友愛婦人』より外に、『勞働及産業』と云ふ機關雜誌もありますし、又時々單行の書物も出版致します。
▲友愛會本部へ御送金の際は金額の細別を詳しく御認め下さい、例へば

一金拾圓也
　内譯
　一金八圓也　友愛婦人百冊代
　一金貳圓也　徽章二十五個代

と云ふ風にして、振替ならば通信文記載欄へ、小爲替などの時は明細書を同封して下さい。

定價

冊數	定價	郵税	合計
一冊	十錢	一錢	十一錢
半ヶ年六冊分	六十錢	三錢	六十三錢
一ヶ年十二冊分	一圓二十錢	無料	一圓二十錢

廣告料

等級	四半頁	半頁	一頁
特等			三十圓
一等	八圓	十三圓	二十五圓
二等	七圓	十一圓	二十圓
三等	五圓	九圓	十五圓

大正五年十一月號
大正五年十一月一日　毎月一回發行【第四號】

東京市芝區三田四國町二番地六號
發行兼編輯人　鈴木文治
東京府下下大崎四百五十二番地
印刷人　中野鐵太郎
東京市芝區愛宕町三丁目二番地
印刷所　東洋印刷株式會社

不許複製

發行所　東京市芝區三田四國町二番地
友愛會本部
振替東京三一五七
電話芝五八五五

發賣所
◎東京堂◎上田屋◎同文館
◎北隆館◎東海堂◎良明堂
◎稻葉書店◎有斐閣◎雜誌店
◎有明館◎三田堂◎文影堂

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

十月一日より

冬衣大賣出し

よせぎれ、見切反物賣出し

鰹節と銘茶の賣始

■各本場より吟味精選せる特殊の品に候是非御試み願上候

■商品券は當店は勿論、横濱鶴屋呉服店の總ての賣品にも共通に候へば御重寶此上なしと被存候

東京 今川橋

松屋呉服店

電話神田四〇番

大正五年七月廿二日第三種郵便物認可
大正五年十月廿九日印刷納本（十一月號）
（毎月一回一日發行）
『友愛婦人』第四號
定價金十錢 郵税一錢

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

日本社会運動史料　機関紙誌篇　第67回配本

友愛会婦人部機関誌　友愛婦人(1)

1978年6月28日発行

編　者　法政大学大原社会問題研究所
総同盟五十年史刊行委員会

発行所　財団法人 法政大学出版局
〒106 東京都港区南麻布2-8-4　TEL. 03 (453) 0717　振替・東京6-95814

本文製版・印刷／平文社　製本／昭栄堂製本

3336-52067-7710

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

刊行のことば

　一九六九年は大原社会問題研究所創立五十周年に当たる。研究所が、一九一九年大阪に創設されてから今日まで半世紀、社会運動は各種の分野で波瀾と曲折とをくりかえしつつ今日にいたった。研究所はこの間、労働運動・農民運動・無産政党運動・水平運動・婦人運動・その他さまざまな分野で作成された機関紙誌・報告書・ビラ・信書等の資料類の蒐集につとめて来た。これらの資料は、いずれも多くの組織や有名無名の運動家たちの血と汗によってつづられた苦闘史の産物であり、社会の貴重な共同財産である。それは一研究所の書庫において私蔵されるよりは、社会運動関係者・研究家あるいは広く一般の読者にむかって公開されるべき性質のものである。研究所は、創立五十周年記念事業の一つとして、逐次これらの資料類を整理編成し、公刊することを決定した。

　総同盟五十年史刊行委員会は、一九六二年、日本労働組合総同盟がその前身である友愛会から数えて創立五十周年を迎えたのを記念して設置された。そして『総同盟五十年史』(全三巻)は、昨年その完結をみた。この編纂過程で、内外の協力を得て友愛会機関紙『友愛新報』をはじめとする友愛会・総同盟関係の資料が集められた。刊行委員会も研究所とまったく同じ考え方から、本史の刊行とともにその若干の覆刻・刊行をすすめてきた。したがって、研究所の「日本社会運動史料」の企画は、刊行委員会としても大賛成であり、従来の刊行委員会の計画をこれに加えることに喜んで同意した。

　こうして、ここに研究所と刊行委員会の共同作業により、友愛会・総同盟と社会民衆党関係の諸資料が、「日本社会運動史料」の一部として刊行される運びとなったのである。われわれは、社会的義務といえることれらの資料の覆刻・刊行の事業を万難を排して遂行していくつもりである。

　理解ある関係者・一般読者の変わらぬ御協力と御援助とを期待してやまない。

一九六九年九月一日

法政大学大原社会問題研究所
総同盟五十年史刊行委員会

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

UC-NRLF
B 4 230 864

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA